

April 2018 , Fall 2017

MASTER'S PROGRAM

Admission Requirements

平成30年度(平成30年4月入学)
平成29年度(秋入学)

京都工芸繊維大学 大学院 工芸科学研究科

学生募集要項

博士前期課程(修士課程)

社会人特別入試

外国人留学生特別入試



KYOTO
INSTITUTE OF
TECHNOLOGY

目次

平成30年度（平成30年4月入学）・平成29年度（平成29年秋入学）

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

博士前期課程（修士課程）社会人特別入試・外国人留学生特別入試学生募集要項

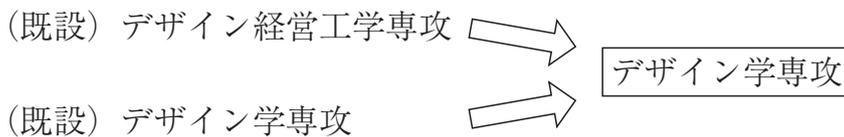
社会人特別入試（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学）	1
外国人留学生特別入試（平成30年4月入学・平成29年秋入学）	17

専攻名	社会人特別入試			外国人留学生特別入試	
	第Ⅰ期	第Ⅱ期	秋入学	4月入学	秋入学
応用生物学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
材料創製化学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
材料制御化学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
物質合成化学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
機能物質化学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
電子システム工学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
情報工学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
機械物理学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
機械設計学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
デザイン経営工学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
デザイン学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
建築学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
先端ファイブプロ科学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
バイオベースマテリアル学専攻	—	若干名	若干名	若干名	若干名
出願期間	第Ⅰ期・秋入学： 平成29年6月30日～7月6日 第Ⅱ期：平成30年1月5日～1月11日			4月入学： 平成30年1月5日～1月11日 秋入学： 平成29年6月30日～7月6日	
学力検査日	第Ⅰ期：平成29年8月22日 第Ⅱ期：平成30年2月1日 秋入学：平成29年8月22日			4月入学：平成30年2月1日 秋入学：平成29年8月22日・23日	
合格発表日	第Ⅰ期・秋入学：平成29年9月1日 第Ⅱ期：平成30年2月14日			4月入学：平成30年2月14日 秋入学：平成29年9月1日	
入学手続日	第Ⅰ期：平成29年11月1日～11月7日 第Ⅱ期：平成30年3月22日～3月27日 秋入学：平成29年9月8日～9月14日			4月入学： 平成30年3月22日～3月27日 秋入学： 平成29年9月8日～9月14日	

お知らせ

本学大学院工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）では、デザインを中核として様々な分野に対応できる俯瞰的視野をもって、社会の潜在課題発見能力、先進テクノロジーを活かした解決能力、サービス価値としての社会実装化能力を有する、あるいは、そういった専門家集団を組織・運営できるソーシャルインタラクションデザインの専門家を育成することを目的として、既設の「デザイン経営工学専攻」および「デザイン学専攻」を新たな「デザイン学専攻」へと再編する改組を計画しています。

【工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）】



予定時期：平成30年4月

※既設組織を継承する計画であることから、出願資格や試験科目等に変更の予定はありません。

なお、上記内容は計画中のものであり、今後文部科学省との協議や大学設置・学校法人審議会における審査等の結果を踏まえ、変更となる場合があります。

詳細については本学 HP 等で順次掲載いたしますのでご確認ください。

Notice

The KIT's Graduate School of Science and Technology will be reorganizing the existing Master's Programs of "Design Engineering and Management" and "Design" into a new Master's Program of "Design". The reorganization aims at developing social interaction design experts who have the ability to discover potential social problems, solution capabilities making use of advanced technologies, social implementation ability as service value or who have the ability to organize and manage such expert groups, with a bird's-eye view that can respond to various fields, having design as its core.

【Graduate School of Science and Technology, Master's Program】



Scheduled timing : April 2018

※ The existing organization will be inherited and there will therefore be no changes to application eligibility or examination subjects.

Please note that the above content is under planning and may be subject to change, based on the results of consultation with the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology as well as the review results of the Central Council for Education.

More details and updated information will be regularly posted on KIT's website.

平成30年度(平成30年4月入学)・平成29年度(平成29年秋入学)
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 博士前期課程(修士課程)
社会人特別入試学生募集要項

近年の科学技術の急速な進展に伴う社会的要請に応えるため、各種の研究機関、教育機関、企業等において職務経歴を有する社会人に対して、高度の研究能力の涵養や新しい学問分野についての知識、技術の修得の機会を提供することは、大学と社会の交流を深める上で極めて有意義であるとともに、大学にとっても教育研究機能の活性化を図る機縁となります。

本研究科では、このような趣旨から、社会人に対して、一般の選抜方法とは異なる方法により入学者の選抜を実施しています。

この選抜により入学した人に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育（13頁の15参照）を実施することとしています。

なお、本特別入試に出願を希望される人は、出願前に必ず指導を希望する教員と連絡をとり、教育方法の特例の具体的内容、研究内容及び出願資格等について確認してください。

1 募集人員

専攻名	募 集 人 員		
	4月入学		秋入学
	第Ⅰ期	第Ⅱ期	
応用生物学専攻	——	若干名	若干名
材料創製化学専攻	——	若干名	若干名
材料制御化学専攻	——	若干名	若干名
物質合成化学専攻	——	若干名	若干名
機能物質化学専攻	——	若干名	若干名
電子システム工学専攻	——	若干名	若干名
情報工学専攻	——	若干名	若干名
機械物理学専攻	——	若干名	若干名
機械設計学専攻	——	若干名	若干名
デザイン経営工学専攻	——	若干名	若干名
デザイン学専攻	——	若干名	若干名
建築学専攻	——	若干名	若干名
先端ファイブロ科学専攻	若干名	若干名	若干名
バイオベースマテリアル学専攻	——	若干名	若干名

《注》 試験の結果によっては、合格者がいない場合があります。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学卒業等の大学院博士前期課程（修士課程）への入学資格取得後（次の(8)により出願する場合は最終学校卒業後）各種の研究機関、教育機関、企業等において志望する専攻に関する職務経歴を平成30年4月1日（秋入学の場合は平成29年10月1日）現在で1年以上有する人としします。（大学または各種学校等在学中の職務経歴は含みません。）

- (1) 大学を卒業した人
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された人
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した人
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育におけ

る16年の課程を修了した人

- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人
- (7) 文部科学大臣の指定した人（文部省告示第5号）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、平成30年3月（秋入学の場合は平成29年9月）までに22歳に達する人《注1、注2》

《注1》(8)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続きを行ってください。

《注2》(8)の出願資格については、高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない人を対象とします。

3 出願資格認定審査

- (1) 『2 出願資格(8)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

入試区分	出願資格認定審査申請期限	出願資格認定審査結果通知
第Ⅰ期・秋入学	平成29年6月5日（月）16時まで	平成29年6月30日（金）まで
第Ⅱ期	平成29年11月30日（木）16時まで	平成30年1月5日（金）まで

《注》 第Ⅰ期における出願資格認定審査の結果、本研究科から出願資格があると認められた人は、第Ⅱ期に出願する際の上記手続きは必要ありません。

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、検定料の振込を行っていただいたうえで、『6 出願書類』に記載する書類（申請時に提出した書類を除く。）を各入試区分ごとの出願期間中に入試課大学院入試係へ提出してください。

4 出願期間

第Ⅰ期・秋入学：平成29年6月30日（金）から平成29年7月6日（木）まで（ただし、土曜日・日曜日は除きます。）

第Ⅱ期：平成30年1月5日（金）から平成30年1月11日（木）まで（ただし、土曜日・日曜日・祝日は除きます。）

受付時間は、9時から12時まで及び13時から16時までです。なお、郵送の場合は、それぞれの出願期間最終日の16時までに到着したもの及び出願期間最終日の前日までの消印があるものについて受け付けます。

5 出願手続

(1) 検定料の振込

志願者は、まず、別添の本学指定の検定料振込書に所定の事項を記入のうえ、金融機関の窓口へ持参して、検定料30,000円を所定の口座へ振り込んでください。振込には別途手数料がかかります。ATM（現金自動預払機）やインターネット等での振込はできません。

(2) 検定料の振込期間

第Ⅰ期・秋入学：平成29年6月23日（金）から平成29年7月6日（木）まで

第Ⅱ期：平成30年1月4日（木）から平成30年1月11日（木）まで

(3) 検定料の免除

出願期間前の概ね1年以内に、大規模な風水害等により被害を受けた人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を振り込む前のできるだけ早い時期に入試課大学院入試係に申し出てください。

(4) 出願書類の提出

(1)の検定料の振込が完了すれば、『6 出願書類』を所定の期日までに入試課大学院入試係に提出してください。

また、郵送される場合は「書留速達」郵便とし、封筒に「大学院入学願書在中」と朱書してください。

(5) 障害等のある人との事前相談について

本学の志願者で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。

① 相談の時期

原則として、出願期間の1週間前までに申し出てください。

② 相談の方法

相談書類（健康診断書などの必要書類）を提出してください。必要な場合は、本学において志願者の事情を説明できる人との面談を行います。

6 出願書類

入学願書等の記入に際しては、本募集要項等を熟読し、記入漏れや誤記のないようにしてください。

(1) 入学願書・受験票・写真票	入学願書に必要事項を記入のうえ、出願者の写真（脱帽、正面向き、上半身で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。
(2) 学業成績証明書	出身大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。《注1》
(3) 卒業証明書	出身大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。《注2》
(4) 職務経歴書	職務上の業績を証明する資料（自作の論文、作品、図面等）を参考資料として添付しても構いません。
(5) 研究計画書	希望指導教員と相談のうえ、確認の印をもらって提出してください。 確認印のないものは出願を認めません。
(6) 受験承諾書	研究機関、教育機関、企業等に在職のまま入学しようとする人は、勤務先の所属長が作成したものを提出してください。
(7) TOEIC個人用 公式認定書（原本）	外国語の試験に代えてTOEICを課している専攻に出願する人は、TOEIC個人用公式認定書（原本）を提出してください（コピー不可）。原本は、コピーした後、直ちに返却します。（郵送で出願された場合は受験票送付時に併せて返却します。） なお、TOEICスコアの有効期限は、TOEIC受験日（公式認定書に明記されている年月日）が、出願期間の最終日（第I期・秋入学にあっては平成29年7月6日、第II期にあっては平成30年1月11日）から遡って、2年以内とします。また、カレッジTOEIC等の団体特別受験制度（IPテスト）によるスコアは、認めません。
(8) 検定料振込受付証明書 貼付票	金融機関の受付日付印が押された検定料振込受付証明書を貼り付けて、志望専攻名及び氏名を記入してください。
(9) 宛名シール	3か所とも記入してください。
(10) 返信用封筒 （受験票送付用）	受験票の受信場所の住所、郵便番号、氏名を明記し、82円分の郵便切手を貼ってください。
(11) その他	ア. 外国人の人は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。 イ. 授業料免除を希望する私費外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください。（15ページ参照）

《注1》『2 出願資格 (2)または(8)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の学長等が作成したものとし、高等専門学校の専攻科出身の人は、高等専門学校等及び専攻科の両方を提出してください。

《注2》『2 出願資格 (2)または(8)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の卒業（修了）証明書とし、『2 出願資格 (2)』の場合は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書も併せて提出してください。

* 一部の出願書類については本学ホームページの入試情報（http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html）よりダウンロードできます。

* その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

- * 出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続きのみに使用します。
- * 入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学科・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

7 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

8 アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

応用生物学専攻

人材育成の目標

分子から生態までの広範な領域の生命現象に関する基礎知識を修得するとともに、その有効利用のためのバイオテクノロジーを活用して、将来に向けた新しいライフサイエンス時代を担うことができる研究技術者の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

応用生物学やバイオテクノロジーに関連した専門的な知識、実験科学的な理解力、英文の読解や表現に優れた人を求めます。

求める能力と適性

- ・生命と自然に対する敬愛
- ・探求心と観察力
- ・柔軟な発想
- ・独創的チャレンジ精神

材料創製化学専攻

人材育成の目標

材料創製化学の要となる高分子材料化学、無機物性工学、材料物理化学、並びに光電子工学に関する十分な基礎知識をもち、高分子材料やセラミック材料などの物質の高次構造化・機能化のアプローチにより実効性あるイノベーションな革新材料開発を実現する应用能力を身につけ、研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚、国際性を併せ持つ人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

高分子材料やセラミック材料の専門領域に対して強い関心を示し、それらの材料を科学する心の知性と実現する意欲を持つ人を求めます。特に、広い視野から問題発掘・解決できる能力を重視します。

求める能力と適性

- ・科学する心の知性と洞察力
- ・積極的な発信力、表現力、コミュニケーション力
- ・社会に対する自覚
- ・研究技術者としての論理的判断力

材料制御化学専攻

人材育成の目標

高い機能を持つ材料を扱う研究技術者は、高分子、無機材料などの個々の特性についての知識に止まらず、機能の源となる基礎的な性質について深く理解していることが求められます。材料制御化学専攻では、それらの知識と理解に基づき、社会に役立つ材料とは何かを考え、将来への見通しを持つ人材、さらに自らの技術力をグローバルに展開する国際性を持つ人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

高分子物質、無機物質などの集合体による、材料のブレークスルーを実現することを志向しつつ、真に豊かな社会の発展を目指す人を求めます。特に、広い視野から問題発掘・解決できる能力を重視します。

求める能力と適性

- ・自ら考える能力
- ・現象の多様性と法則性を共に認識する能力
- ・自分の意見を正しく伝え、深いディスカッションを行う能力
- ・社会における自らの役割と責任を自覚する能力

物質合成化学専攻

人材育成の目標

有機物質の最小構成単位である分子の設計原理の解明や合成手法の開拓を通して、新素材や先端機能材料の開発を目的とした教育・研究を行い、自然との共生を念頭に置いて、自ら考え行動できる積極性、創造性、そして国際性を併せ持つ人材の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

化学を基礎とした材料開発に強い関心と情熱を有し、環境との調和を考えながら、原子・分子レベルでの物質創成を通して研究能力の向上、並びに専門知識の深化を目指す人材を求めます。

求める能力と適性

- ・自然科学に対する強い関心
- ・化学、物理、数学などの基礎学力
- ・基礎学力に基づいて研究を進展させる創造性と論理的思考力
- ・手ずから実験を行うことのできる積極性と行動力
- ・コミュニケーション能力

機能物質化学専攻

人材育成の目標

生命、エネルギー、自然環境を化学の視点からとらえながら、生体関連物質等の機能性物質の構造と機能の精密解析及び機能性物質の創成と応用に関連する研究経験から、洞察力と問題解決能力を身につけた研究技術者の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

生命科学と化学の学際領域を担う機能性物質の構造と機能について強い興味と関心を持ち、研究遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力を備えた人を求めます。特に、機能分子の創成と応用研究に関する問題解決能力を重視します。

求める能力と適性

- ・機能性物質に対する深い興味と化学、数学、物理、生化学の基礎学力
- ・コミュニケーション能力及び議論する能力
- ・研究技術者としての論理的判断力
- ・機能性物質の応用研究に関する深い探求心

電子システム工学専攻

人材育成の目標

エレクトロニクス基盤技術や情報通信技術を修得するとともに、高度な専門知識に基づく将来に向けた新しい技術の開発を先導する能力、新しい技術を社会に応用、適合させるための総合力を身につけた人材の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

修学及び研究活動に必要な英語力、基礎学力、希望研究分野に関連した専門基礎知識、研究意欲を求めます。

求める能力と適性

- ・チャレンジ精神と行動力
- ・論理的な思考力と設計能力
- ・数理的解析能力
- ・感性と創造力
- ・自己表現能力

情報工学専攻

人材育成の目標

あらゆる産業基盤を支えている ICT についての高度な知識と技能を身に付け、情報機器製造業を初めとする様々な製造業において、また ICT を活用したサービス事業を展開する企業において、さらには ICT に関連した様々な企業及び教育・研究機関において、リーダーシップを持ちつつ自発的かつ国際的に研究・開発を行い、人間中心型の豊かな情報社会の構築を先導する研究技術者を育成します。

選抜の方針・ポリシー

情報工学に関する基本的な知識や数理的な解析能力、及び研究活動に必要な英語能力を有し、高度情報技術者として研究・開発を率先して担っていく意欲のある人を求めます。

求める能力と適性

- ・ チャレンジ精神と行動力
- ・ 論理的な思考力
- ・ 数理的解析能力
- ・ 感性と創造力
- ・ 自己表現とコミュニケーション能力
- ・ 人間や社会に対する興味

機械物理学専攻

人材育成の目標

機械工学の根幹をなす力学分野を中心に、様々な物理現象を理解するための理論的、実験的及び数値的解析手法を身に付け、実際の工学的問題に応用する能力を有し、国際的に活躍できる「探究的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を送り出すことを目的としています。

選抜の方針・ポリシー

自然現象に興味があり、機械工学の基礎学力を有し、自然に対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める人を求めます。

求める能力と適性

- ・ 好奇心
- ・ 独創性
- ・ 挑戦する意欲
- ・ 論理的思考力
- ・ 深い洞察力

機械設計学専攻

人材育成の目標

機械工学のみならず幅広い先端的テクノロジーに精通し、これらの工学的知識を横断的に駆使することによりイノベーションをデザインする能力を有し、国際的に活躍できる「実践的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を送り出すことを目的としています。

選抜の方針・ポリシー

ものづくりが好きで、機械工学の基礎学力を有し、自然に対する興味や好奇心、深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める人を求めます。

求める能力と適性

- ・ 好奇心
- ・ 独創性
- ・ 挑戦する意欲
- ・ 論理的思考力
- ・ 先見性

デザイン経営工学専攻

人材育成の目標

経営、デザイン、工学を融合したデザイン経営工学をもとに、広い視野から、ものの機能とその評価、ものづくりの仕組みやビジネスを構想する能力を発揮することで、社会と産業に貢献し、生活環境や生活スタイルの革新をリードする人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

大学のデザイン系・建築系学科、経営系学科、生活科学系学科、エンジニアリング系学科の卒業生あるいは同等の学力を有する社会人で、知識・技術のリフレッシュ/ブラッシュアップを目指す人、モノづくり・空間づくりに関心のある経営者を求めます。

求める能力と適性

- ・ 感知力：新しさ、楽しさ、美しさへの感性と理解力
- ・ 思考力：論理的思考力と柔軟な発想、構想力
- ・ 表現力：コミュニケーションとプレゼンテーション能力
- ・ 行動力：他人を尊敬できリードできるパワー

デザイン学専攻

人材育成の目標

①デザイン学領域

プロダクトやグラフィック、インテリア等の専門的デザイン能力をベースに、京都独自の伝統意匠の理論・方法論も活かして革新的な製品やサービスをデザインすることができる人材を育てる。また、海外から招聘する世界的なデザイナーや研究者の指導のもと、異分野混合チームでの産学連携プロジェクト等を経験させることで、様々な分野で国際的に活躍できるデザイン能力を修得させる。

②価値創造学領域

美術、デザイン、建築などの作品や作者についての深い洞察に根ざした「論理構築」とキュレーション（展示企画）という「実践」を通して、作品や作者の「価値」を自らの視点で言葉や展示にして、広く世界に発信することができる人材の育成を目的とする。

選抜の方針・ポリシー

デザイン全般に関する基本的な知識と制作経験を持ち、柔軟で独創的な発想力を備え、さらに深いデザイン知識とより実践的なデザイン方法論を研究・実践していく意欲ある人を求めます。また、専門分野についての知識習得並びに理論的研究に終始せず、それを基盤として、美術館・博物館での展示等の社会的実践に繋げていく意欲のある人を求めます。

求める能力と適性

- ・ 美に対する感受性
- ・ 人間や環境に対する深い関心
- ・ 理論と実践のバランス
- ・ 独創的な思考力
- ・ 強い意欲と行動力

建築学専攻

人材育成の目標

都市・建築における〈KYOTO デザイン〉教育、すなわち歴史と先端性が同居する京都の特性を活かした、地域に根ざすと同時に国際的な競争力のある都市・建築教育を行い、建築家、建築技術者、都市プランナー、修復建築家等の高い実践能力を持つ人材を育成する。

そのために世界中から第一級の専門家を中長期にわたって招致するとともに、本学教員、学生も広く海外へ教育・研究活動を展開して、地球規模での研究力及び実践力を修得させる。また、京都だからこそ可能な都市・建築遺産のストック活用とマネジメントの技能を磨くことで、場所に即しながらも普遍的な修復・再生に関する専門能力を身につける。

そして、これらの教育体制と研究蓄積を資源として立ち上げるデザイン工房・研究施設において、具体的な建築設計や都市・建築再生マネジメント等を実践することで、社会問題の解決あるいは社会的価値の創造の能力を伸ばす。

こうして環境における空間的広がりと時間的厚みを未来に向けて高次元に統合し構想する、〈KYOTO デザイン〉の担い手を養成する。

選抜の方針・ポリシー

京都という地において都市・建築を学ぶことの意義に意識的な人、すなわち、自然・都市・住環境の一体性を志向した総合力・論理的思考力、都市・建築における歴史と場所性に寄り添う思考態度、京都の国際的ブランド力を活かして地球規模で都市・建築とそのデザインを考える発想力と創造意欲を求めます。

求める能力と適性

- ・ 京都という地の特性への理解
- ・ 人間、環境、文化、歴史への関心
- ・ 建築設計に関する基礎的能力
- ・ 美に対する感受性と表現力
- ・ 地球規模での活動への意欲と行動力

先端ファイブ科学専攻

人材育成の目標

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを学ぶことにより、人と環境に優しいものづくりができ、かつ未知のものに向かって自らの考えでアプローチができる応用力を身につけた人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもること無く広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

求める能力と適性

- ・ 独創的思考力と感性
- ・ 人間社会、環境に対する深い関心
- ・ 問題の発見力と解決意欲
- ・ チャレンジ精神と行動力

バイオベースマテリアル学専攻

人材育成の目標

今世紀の中核素材となる「バイオベースマテリアル」に関する新しい材料科学・工学を切り拓きながら、新時代を担いよう研究者・技術者を育成します。

選抜の方針・ポリシー

将来にわたって豊かな人間生活を保持するために低炭素社会を実現する必要性を理解し、その実現をバイオベースマテリアルの基礎並びに応用研究を行うことにより意欲的に目指したい人を求めます。

求める能力と適性

- ・ バイオベースマテリアル (BBM) に対する強い興味と関心
- ・ 有機化学、物理化学、生化学、高分子化学のいずれかに関する十分な基礎知識
- ・ 新しいBBM 開発やBBM のさらなる展開を目指す強い意志と、関連分野の学修に対する旺盛な意欲
- ・ 国際的な舞台で、創造的に新しい社会を開拓しようとする意欲と行動力

9 学力検査日時、検査方法及び場所等

(1) 学力検査日時及び科目

① 第Ⅰ期

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
先端ファイブロ科学専攻	平成29年 8月22日(火)	筆記試験	外国語 9:30~12:00(150分)	100	英語
		口述試験	13:00~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。

② 第Ⅱ期

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	平成30年 2月1日(木)	外国語 (筆記試験は実施しない。)		100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述試験	13:00~	100	応用生物学について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
材料創製化学専攻	平成30年 2月1日(木)	外国語 (筆記試験は実施しない。)		100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	平成30年 2月1日(木)	外国語 (筆記試験は実施しない。)		100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	平成30年 2月1日(木)	外国語 (筆記試験は実施しない。)		100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	平成30年 2月1日(木)	外国語 (筆記試験は実施しない。)		100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
電子システム工学専攻	平成30年 2月1日(木)	外国語 (筆記試験は実施しない。)		100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		筆記試験	専門科目 10:00~10:45(45分)	100	電磁気学、電気回路、電子回路の3題から1題を選択
		口述試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。

(次ページへ続く)

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
情報工学専攻	平成30年 2月1日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30~	300	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
機械物理学専攻	平成30年 2月1日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	小論文 13:00~14:30(90分)	300	日本語による小論文。 志望する研究分野及び関連する分野における知識・学力等を問うことがある。
機械設計学専攻	平成30年 2月1日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	小論文 13:00~14:30(90分)	300	日本語による小論文。 志望する研究分野及び関連する分野における知識・学力等を問うことがある。
デザイン経営工学 専攻	平成30年 2月1日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	14:15~	200	修士論文研究計画及び関連する専門的知識について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
デザイン学専攻	平成30年 2月1日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	15:00~	300	持参作品集(ポートフォリオ)または研究計画に関する資料(パネル等)について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
建築学専攻	平成30年 2月1日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00~	300	持参作品もしくは研究計画について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
先端ファイブプロ 科学専攻	平成30年 2月1日(木)	筆記 試験	外国語 9:30~12:00(150分)	100	英語
		口述 試験	13:00~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	平成30年 2月1日(木)	筆記 試験	外国語 9:00~10:30(90分)	100	英語
		口述 試験	11:00~	200	専門的な知識を問う。

③ 秋入学

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00~	100	応用生物学について実施する。
材料創製化学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
電子システム工学 専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	専門科目 10:00~10:45(45分)	100	電磁気学、電気回路、電子回路の3題から1題を選択
		口述 試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
情報工学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:30~	300	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
機械物理学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	専門科目 13:00~14:30(90分)	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各2題(計8題)のうちから2題を選択

専攻名	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
機械設計学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	専門科目 13:00~14:30(90分)	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各2題(計8題)のうちから2題を選択
デザイン経営工学 専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00~	200	修士論文研究計画及び関連する専門的知識について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
デザイン学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00~	300	持参作品集(ポートフォリオ)または研究テーマを説明する資料等(パネル等)について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
建築学専攻	平成29年 8月22日(火)		外国語 (筆記試験は実施しない。)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00~	300	研究計画書または、持参作品について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
先端ファイブ 科学専攻	平成29年 8月22日(火)	筆記 試験	外国語 9:30~12:00(150分)	100	英語
		口述 試験	13:00~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	平成29年 8月22日(火)	筆記 試験	外国語 9:00~10:30(90分)	100	英語
		口述 試験	11:00~	200	専門的な知識を問う。

(2) 試験場 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス(京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地)
試験室等は、次の日までに本学のホームページ(http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)及び入試課前掲示板に掲示します。

第I期・秋入学:平成29年8月21日(月)

第II期:平成30年1月31日(水)

(3) 受験についての注意

共通の注意事項

- ① 受験者は、試験の当日受験票を持参し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は入試課へ申し出てください。
- ② 受験者は、試験の当日試験開始30分前までに試験場に到着してください。
- ③ 受験者は、各科目の試験開始20分前までに所定の試験室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ④ 試験開始後、試験室に30分以上遅刻してきた人は受験することができません。
- ⑤ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった人は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。

- ⑥ 試験には、黒鉛筆又はシャープペンシル（黒）及び消しゴムを持参してください。
- ⑦ 試験中は、時計並びに監督者の指示するもの以外は机上に置いてはいけません。
- ⑧ 試験中不正行為をした者及び不正行為とみなされる行動があった者、または監督者の指示に従わない者は、直ちに受験の停止を命じます。
- ⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる人は、事前に入試課に申し出てください。
- ⑩ 試験時間中に気分が悪くなったり、受験することが困難と思われたときは、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、次の試験時間の遅刻限度を超過した場合は、当該試験の受験も認めません。
- ⑪ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。
- ⑫ 携帯電話は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着いただくことがあります。膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。

各入学試験における専攻ごとの注意事項

① 第Ⅰ期

◆ 先端ファイブ科学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

② 第Ⅱ期

◆ 電子システム工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

◆ 情報工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

◆ デザイン経営工学専攻

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、希望指導教員にあらかじめ連絡・確認しておいてください。

口述試験：活動歴、業績などがわかるような、設計、作品、研究論文、調査報告書等を持参してください。なお、設計、作品、研究論文、調査報告書等は、写真またはコピー等で代えることができます。

◆ デザイン学専攻

下記のものを持参してください。

口述試験：デザイン作品3点以上を含む作品集（ポートフォリオ）、もしくは研究テーマを説明する資料（パネル等）。なお、作品は写真等で代えることができるとともに、可能な場合は作品そのものを持ち込んでもかまいません。

◆ 建築学専攻

口述試験：研究計画を説明するにあたって必要な資料、または建築設計作品のうち代表的な2点以上の図面、写真等を持参してください。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

◆ 先端ファイブ科学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

③ 秋入学

◆ 電子システム工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

◆ 情報工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

◆ デザイン学専攻

口述試験：デザイン作品3点以上を含む作品集、もしくは研究テーマを説明する資料（パネル等）を持参してください。なお、作品は写真等で代えることができます。

◆ 建築学専攻

口述試験：研究計画を説明するにあたって必要な資料、または建築設計作品のうち代表的な2点以上の図面、写真等を持参してください。なお、建築模型の持ち込みは認めません。

◆ 先端ファイブ科学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

10 合格者発表

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ (http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html) に発表します。

なお、同時に合格者には、受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

- (1) 第Ⅰ期・秋入学：平成29年9月1日（金） 17時（予定）
- (2) 第Ⅱ期：平成30年2月14日（水） 17時（予定）

11 入学手続

合格者は、次の日時に入学手続きを行ってください。なお、入学手続き書類は、合格通知書に同封します。

- (1) 第Ⅰ期
大学において、直接入学手続きを行う場合 平成29年11月7日（火）9時から17時まで
郵送により入学手続きを行う場合 平成29年11月1日（水）から平成29年11月7日（火）（17時必着）まで
- (2) 第Ⅱ期
大学において、直接入学手続きを行う場合 平成30年3月27日（火）9時から17時まで
郵送により入学手続きを行う場合 平成30年3月22日（木）から平成30年3月27日（火）（17時必着）まで
- (3) 秋入学
大学において、直接入学手続きを行う場合 平成29年9月14日（木）9時から17時まで
郵送により入学手続きを行う場合 平成29年9月8日（金）から平成29年9月14日（木）（17時必着）まで

12 入学に要する経費

- (1) 入学料 282,000円
- (2) 授業料 267,900円（半期） 535,800円（年額）
※ ① 入学料及び授業料の額は、改定される場合があります。
② 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。
③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。
④ 入学時及び前期の納入月に年額授業料を一括して納入することもできます。
⑤ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
⑥ 入学手続時に授業料を納入した後で、平成30年3月30日（秋入学の場合は平成29年9月26日）までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により当該授業料相当額を返還します。
- (3) 学生教育研究災害傷害保険料
2年間の保険料 1,750円（予定）
- (4) 学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険料
2年間の保険料 680円（予定）

13 入学料・授業料の免除等制度

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または半額を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。

平成30年度前期分（秋入学は平成29年度後期分）の授業料免除の申請方法は、私費外国人留学生（在留資格が

「留学」の人及び本学入学時まで「留学」の在留資格を取得する人)とそれ以外の人とで次のとおり異なります。詳細は、学生サービス課奨学支援係へ問い合わせてください。

■ 平成30年度前期分(秋入学は平成29年度後期分)の授業料免除の申請方法

(1) 私費外国人留学生(在留資格が「留学」の人及び本学入学時まで「留学」の在留資格を取得する人)

入試出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

① 申請期間

入試の出願期間に、「② 申請書類」を入試出願書類と一緒に提出してください。(出願期間は、2ページの「4. 出願期間」を参照してください。)出願期間後の申請は受け付けしません。

② 申請書類

- ・授業料免除申請書類一式(本学所定様式)
- ・(日本に在住している人は次の書類も提出が必要)

本人の在留カードのコピー、同居している家族がいる場合は家族の住民票、同居の家族が学生の場合は学生証のコピー、本人または同居の家族に収入がある場合は収入金額を証明する書類

③ 選考結果の通知

入学試験の合格通知書と併せて、免除選考結果通知書を送付します。

④ 授業料免除申請書類の請求方法

授業料免除申請書類は、本学ホームページ(https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/)よりダウンロードできます。

または、学生サービス課奨学支援係の窓口へ取りに来られるか、郵送で請求してください。

- ・窓口で受け取る場合

月曜日～金曜日(ただし、祝日と休業日を除く)の8時30分から17時15分の間に、学生サービス課奨学支援係(大学会館2階)にお越しください。

- ・郵送で請求する場合

郵便番号、住所、氏名を明記し、92円分の切手を貼った返信用封筒【長形3号(12×23.5cm)】と受験予定の入試名を記載したメモを同封のうえ、大学への送付用封筒の表に「授業料免除申請要項請求」と朱書きして、学生サービス課奨学支援係に請求してください。郵送にかかる日数と出願期間を考慮して余裕をもって請求してください。出願期間が迫っている場合は、学生サービス課奨学支援係へ電話をしてください。

(2) 上記(1)以外の人

入学手続後に申請を受け付けます。(申請受付日は平成30年3月下旬(秋入学は平成29年9月下旬)の予定)申請方法は、合格通知書に同封する入学手続書類で確認してください。

14 奨学金制度

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度があり、学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、奨学金の貸与を受けることができます。奨学金の種類には、第一種(無利子)と第二種(有利子)があります。

(2) 返還免除の制度

本学の大学院において独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金貸与者で当該年度に貸与期間が終了する者のうち、特に優れた業績をあげたとして機構が認定した者は、全額または一部の返還が免除される制度があります。

15 大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第14条に定める教育方法の特例による教育

通常、企業等において活躍中の社会人研究者・技術者が博士前期課程で学ぶ場合、2年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが、このような就学条件を満たすことは一般的にはかなり困難です。そこで、このような社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されていますので、本研究科においてはこの制度を活用し、社会人学生に対してはこ

の教育方法の特例による教育を実施します。

16 注意事項

- (1) 出願書類等に次のような不備がある場合には、受理しないことがあります。
 - ① 出願書類がそろっていない場合
 - ② 出願書類の記載が不完全な場合
 - ③ 検定料が振り込まれていない場合または、「検定料振込受付証明書」が貼付票に貼り付けられていない場合
- (2) 出願書類の提出後は、記載事項の変更は認めません。また、検定料及び出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
ただし、次の場合には、検定料の返還請求ができます。
 - ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合または、金額を誤って払い込んだ場合

* 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。
- (3) 受験票は学力検査日の3日前までに発送します。
- (4) 出願書類等の提出書類に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 合格者で企業等に在職のまま入学しようとする人は、勤務先の所属長の就学承諾書を提出してください。

2018年（平成30年）度4月入学・2017年（平成29年）度 秋入学
 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科
 博士前期課程（修士課程）外国人留学生特別入試学生募集要項

April Admissions for the 2018 Academic Year (Fall Admissions for the 2017 Academic Year)
 Kyoto Institute of Technology (KIT) Graduate School of Science and Technology
 Master's Program Admission Requirements for International Students

外国人留学生特別入試

1 募集人員 Number of Students to be Admitted

専攻名 Master's programs	募集人員 Number of Students to be Admitted	
	2018年4月入学 April Admissions for 2018	2017年秋入学 Fall Admissions for 2017
応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology	若干名 Limited number	若干名 Limited number
材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials	若干名 Limited number	若干名 Limited number
材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control	若干名 Limited number	若干名 Limited number
物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis	若干名 Limited number	若干名 Limited number
機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry	若干名 Limited number	若干名 Limited number
電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics	若干名 Limited number	若干名 Limited number
情報工学専攻 Master's Program of Information Science	若干名 Limited number	若干名 Limited number
機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics	若干名 Limited number	若干名 Limited number
機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign	若干名 Limited number	若干名 Limited number
デザイン経営工学専攻 Master's Program of Design Engineering and Management	若干名 Limited number	若干名 Limited number
デザイン学専攻 Master's Program of Design	若干名 Limited number	若干名 Limited number
建築学専攻 Master's Program of Architecture	若干名 Limited number	若干名 Limited number
先端ファイブ科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science	若干名 Limited number	若干名 Limited number
バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science	若干名 Limited number	若干名 Limited number

《注》 Note

(1) 入試の結果によっては、合格者がいない場合があります。

There may be no successful applicants, depending on the examination results.

(2) 本特別入試に出願を希望される人は、出願前に必ず指導を希望する教員と連絡をとり、研究希望・内容及び出願資格等について確認してください。

Those wishing to apply to the programs above must contact a prospective supervisor of the target program prior to applying, in order to confirm their eligibility and research plan.

2 出願資格 Eligibility

日本国籍を有しない人で、修学に必要な程度の日本語の能力を有し、次の各号のいずれかに該当する人

Non-Japanese whose Japanese language proficiency will enable them to cope with Japanese coursework and who conform to at least one of the following items are eligible to apply.

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した人及び2018年（平成30年）3月（秋入学の場合は2017年（平成29年）9月）までに卒業見込みの人

Those who have graduated from university or are expected to graduate by March 2018 (September 2017 for fall admissions) in conformance to Article 83 of the School Education Law (Act No. 26 of 1947)

- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された人及び2018年（平成30年）3月（秋入学の場合は2017年（平成29年）9月）までに授与される見込みの人

Those who have received a bachelor's degree or are expected to receive one by March 2018 (September 2017 for fall admissions) in conformance to Article 104, Section 4 of the School Education Law (Act No. 26 of 1947).

- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した人及び2018年（平成30年）3月（秋入学の場合は2017年（平成29年）9月）までに修了見込の人

Those who have completed the entire 16-year curriculum of the school educational system in overseas schools or those who are expected to complete it by March 2018 (September 2017 for fall admissions).

- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した人及び2018年（平成30年）3月（秋入学の場合は2017年（平成29年）9月）までに修了見込みの人

Those who have completed class subjects in Japan through distance learning programs conducted by overseas schools, completing the entire 16-year curriculum of the school educational system in the country concerned or who are expected to complete it by March 2018 (September 2017 for fall admissions).

- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人及び2018年（平成30年）3月（秋入学の場合は2017年（平成29年）9月）までに修了見込みの人

Those who have completed or are expected to complete by March 2018 (September 2017 for fall admissions), courses at educational institutions abroad (limited to those who have completed the entire 16-year curriculum of the school educational system in the country in question). Said educational institution must be one that is regarded in Japan to have university courses in that country's educational system and courses specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT).

- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人

Those who have completed vocational school courses specifically designated by MEXT Minister (limited to those that require four or more years to complete and that satisfy criteria designated by MEXT Minister) that have been completed after the date designated by the MEXT Minister.

- (7) 文部科学大臣の指定した人（文部省告示第5号）

Those designated by the MEXT Minister (under Public Notice of the Ministry of Education No. 5).

- (8) 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した人で、次のア及びイの要件を満たし、かつ、本研究科において大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人《注1》

Those who have completed university education in a country where completion of university education is less than 16 years, provided they fulfill the requirements in items a) and b) below, and who also are acknowledged by the KIT Graduate School to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a university graduate.^{Note 1}

ア 大学教育修了後、日本国内または国外の大学もしくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として1年以上研究に従事した人及び2018年（平成30年）3月（秋入学の場合は

2017年（平成29年）9月）までに1年以上研究に従事する見込みの人

- a) Those who after completing university education, have engaged or will have engaged in research for at least one year by March 2018 (September 2017 for fall admissions) as a research student or researcher at a domestic or overseas university or inter-state-run university standard research institute.
- イ 2018年（平成30年）3月（秋入学の場合は2017年（平成29年）9月）までに22歳に達する人
- b) Those who will be at least 22 years of age by March 2018 (September 2017 for fall admissions).
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、2018年（平成30年）3月（秋入学の場合は2017年（平成29年）9月）までに22歳に達する人《注1、注2》

Those who are acknowledged by the KIT Graduate School to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a university graduate, as proven by individual screening for entrance eligibility, and will be at least 22 years of age by March 2018 (September 2017 for fall admissions). ^{Note 1, Note 2}

《注1》 (8)または(9)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続きを行ってください。

Note 1: For those applying under items (8) or (9) above, eligibility screening will be undertaken to verify eligibility prior to admission application; therefore, please complete formalities for the screening based on the following section (3 Eligibility Screening).

《注2》 (9)の出願資格については、高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない人を対象とします。

Note 2: Item (9) is for those without documentation of university graduation such as graduates from vocational schools, junior colleges, special technical schools, international schools or any other type of schools.

3 出願資格認定審査 Eligibility Screening

- (1) 『2 出願資格 (8)または(9)の資格で出願を希望される人』は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

Those wishing to apply under items (8) or (9) of “2 Eligibility” above, must submit application forms by the below Eligibility Screening Application Deadline contact Graduate Admissions for details.

入学時期 Admission Period	出願資格認定審査申請期限 Eligibility Screening Application Deadline	出願資格認定審査結果通知 Eligibility Screening Application Results Notification
2018年4月 April 2018	2017年（平成29年）11月30日（木）16時まで 4:00pm, 30 November 2017 (Thu)	2018年（平成30年）1月5日（金）まで By 5 January, 2018 (Fri)
2017年秋 Fall 2017	2017年（平成29年）6月5日（月）16時まで 4:00pm, 5 June 2017 (Mon)	2017年（平成29年）6月30日（金）まで By 30 June, 2017 (Fri)

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、検定料を振り込んだうえで、『6 出願書類』に記載する書類（申請時に提出した書類を除く。）を各入試区分ごとの出願期間中に入試課大学院入試係へ提出してください。

Those who are deemed eligible though the screening process must then transfer the application fee as in item “5 Application Procedures”, followed by submission of the forms/documents listed in item “6 Application Documents” (excluding documents previously submitted at the time of the above application) to Graduate Admissions during the below Application Period.

4 出願期間 Admissions Application Period

4月入学：2018年（平成30年）1月5日（金）から2018年（平成30年）1月11日（木）までです。（ただし、土曜日・日曜日・祝日は除きます。）

April Admissions: The admissions application period is from 5 January 2018 (Fri) to 11 January 2018 (Thu). Note that the office is closed on Saturdays, Sundays and national holidays.

秋入学：2017年（平成29年）6月30日（金）から2017年（平成29年）7月6日（木）までです。ただし、土曜日・日曜日・祝日は除きます。）

Fall Admissions: The admissions application period is from 30 June 2017 (Fri) to 6 July 2017 (Thu). Note that the office is closed on Saturdays, Sundays and national holidays.

受付時間は、9時から12時まで及び13時から16時までとします。なお、郵送の場合は、それぞれの出願期間最終日の16時までに到着したもの及び出願期間最終日の前日までの消印があるものについて受け付けます。

海外から直接出願しようとする人は、出願期間の1カ月前までに入試課大学院入試係及び指導を希望する教員に問い合わせてください。

Applications are accepted between 9:00 am and 12:00 pm and between 1:00 pm and 4:00 pm. In the case of posted applications, note that they must arrive by 4:00 pm on the final day of the respective application period or be postmarked no later than the previous day.

Anyone applying directly from overseas should contact below and consult with a prospective supervisor of the target program at least one month prior to the application period.

5 出願手続 Application Procedures

(1) 検定料の振込 Application Fee Payment

志願者は、まず、別添の本学指定の検定料振込書に所定の事項を記入のうえ、金融機関の窓口へ持参して、検定料30,000円を所定の口座へ振り込んでください。振込には別途手数料がかかります。ATM（現金自動預払機）やインターネット等での振込はできません。

Those wishing to apply for admission must first fill out the attached application fee bank transfer form to transfer the 30,000 yen fee to the specified account from a financial institution. A transfer fee will be charged separately. Note that transfers from ATMs and Internet transfers are not permitted.

Applicants transferring the fee from overseas must contact the Graduate Admissions in advance and use the following bank account information:

Application fee: JPY 30,000

Bank: The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.

Kyoto-Chuo Branch

Account Number: Savings account 2714161

Swift code: BOTKJPJT

Account Holder's Name: Kyoto Institute of Technology

(2) 検定料の振込期間 Application Fee Payment Period

4月入学：2018年（平成30年）1月4日（木）から2018年（平成30年）1月11日（木）まで

April Admissions: The fee must be transferred within the period from 4 January 2018 (Thu) to 11 January 2018 (Thu).

秋入学：2017年（平成29年）6月23日（金）から2017年（平成29年）7月6日（木）まで

Fall Admissions: The fee must be transferred within the period from 23 June 2017 (Fri) to 6 July 2017 (Thu).

(3) 検定料の免除 Exemption from Application Fee Payment

出願期間前の概ね1年以内に、大規模な風水害等により被害を受けた人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を振り込む前のできるだけ早い時期に入試課大学院入試係に申し出てください。

Those who have suffered from severe storm, flood or other natural or man-made disaster damage within a year prior to the admission application period may be eligible for exemption by petition; therefore, anyone believing their case to be applicable should contact Graduate Admissions as soon as possible prior to transferring the Application fee.

(4) 出願書類の提出 Submitting Admission Application Documents

(1)の検定料の振込が完了すれば、『6 出願書類』を所定の期日までに入試課大学院入試係に提出してください。

また、郵送される場合は「書留速達」郵便とし、封筒に「大学院入学願書在中」と朱書してください。

Once the application fee has been transferred (see item (1)), the documents described in "6 Application Documents" should be submitted to Graduate Admissions.

When posting documents, applicants must send them by registered express mail (*kakitome-sokutatsu*), and write "graduate school admission documents enclosed" in red ink on the envelope.

(5) 障害等のある人との事前相談について Preliminary Consultations with Disabled Applicants

本学の志願者で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談くだ

さい。

相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。

Applicants with disabilities who wish to apply for admission should make a request to KIT prior to applying, to allow for necessary arrangements for sitting exams and studying to be provided.

Also, if consultation is deemed necessary based on a disability request, the procedures to be taken in advance are as follows.

Note also that in cases where disability considerations are found to be necessary after the admission application documents have been submitted, allowances may be made after the closing date for consultation, but consultation must be requested as early as possible.

① 相談の時期 Consultation period

原則として、出願期間の1週間前までに申し出てください。

As a general rule, disabled applicants must start their consultation at least one week prior to the admission application period.

② 相談の方法 Consultation method

相談書類（健康診断書などの必要書類）を提出してください。必要な場合は、本学において志願者の事情を説明できる人との面談を行います。

Submit consultation documents (necessary documents, such as medical examination reports). If necessary, KIT will interview someone who can speak on behalf of the applicant (parent or former teacher, etc.).

6 出願書類 Application Documents

入学願書等の記入については、本募集要項等を熟読し、記入漏れや誤記のないようにしてください。

Please carefully read the entrance requirements when filling out application forms. Avoid omissions and mistakes.

(1) 入学願書・受験票・写真票（裏面の履歴等も記入のこと）

Application forms and documents with curriculum vitae filled in on the reverse side, examination admission ticket, ID photo ticket:

入学願書に必要な事項を記入のうえ、出願者の写真（脱帽、正面向き、上半身で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。

Fill out the forms and attach an ID photo (upper body, no hat, front view taken within three months prior to application).

(2) 学業成績証明書 Official academic transcripts:

在籍または出身大学の学業成績証明書《注1》

Official academic transcripts from the college or university previously or currently attended^{Note 1}

(3) 卒業（見込）証明書 Graduation certificate (or certificate of expected graduation):

在籍大学の卒業見込証明書または出身大学の卒業証明書《注2》

Graduation certificate or certificate of expected graduation from the college or university previously or currently attended^{Note 2}

(4) TOEIC個人用公式認定書（原本） Official TOEIC score certificate (original):

外国語の試験に代えてTOEICを課している専攻に出願する人は、TOEIC個人用公式認定書（原本）を提出してください（コピー不可）。原本は、コピーした後、直ちに返却します。（郵送で出願された場合は受験票送付時に併せて返却します。）

なお、TOEICスコアの有効期限は、TOEIC受験日（公式認定書に明記されている年月日）が、出願期間の最終日（4月入学にあっては2018年（平成30年）1月11日、秋入学にあっては2017年（平成29年）7月6日）から遡って、2年以内とします。

また、カレッジTOEIC等の団体特別受験制度（IPテスト）によるスコアは、認めません。

Those applying for a program using TOEIC in place of a foreign language examination must submit their official TOEIC score certificate (the original, as a copy is not allowed). This certificate will be returned to the applicant as soon as a copy has been made. (in case of application by post, it will be returned at the time of sending the examination admission ticket)

Note that the official TOEIC score must be taken within two years from the final day of admission application period (11 January 2018 for April admissions, 6 July 2017 for fall admissions). Also note that Institutional Program (IP) TOEIC scores are not accepted.

(5) 研究計画書 Research proposal:

希望指導教員と相談のうえ、教員の確認印をもらって提出してください。確認の押印がないものは、出願を認めません。デザイン学専攻並びに建築学専攻に出願する人はデザイン・建築用の研究計画書で提出してください。

Consult your prospective supervisor (the KIT professor of the lab you propose to join) and submit your proposal after obtaining the professor's seal for approval. Proposals without a seal of approval will not be accepted. Those applying for Design and Architecture programs must submit a research proposal using a designated format.

(6) 研究歴証明書 Certificate of research activities:

『2 出願資格の(8)』で出願する人のみ、本研究科所定の用紙に記入し、在籍した機関の長等が証明のうえ提出してください。

Only applicants applying under item (8) of section "2 Eligibility" need to provide certificates from the research facility where they worked. Fill out the designated form of the research program concerned, and receive a signature from the head of the institution before submission.

(7) 検定料振込受付証明書貼付票 Application Fee Bank Receipt Submission Form:

金融機関の受付日付印が押された検定料振込受付証明書を貼り付けて、志望専攻名及び氏名を記入してください。

Attach application fee bank receipt with the bank's stamp and the date of transaction and fill in the applicant's name and desired program.

(8) 宛名シール Mailing label:

3か所とも記入してください。

Fill in the blank spaces on all 3 mailing label stickers.

(9) 返信用封筒（受験票送付用） Self-addressed envelope (used for mailing examination admission ticket):

受験票の受信場所の住所、郵便番号、氏名を明記し、82円分の郵便切手を貼ってください。

Clearly write the name, address and zip code of the place you wish to receive your examination admission ticket, and attach a 82 yen stamp to the envelope.

(10) その他 Other:

ア. 現在、他の大学院に在学中の人は、当該大学院の受験許可書

a) Those currently enrolled in a master's program at another university must submit the entrance exam permission from the university in question.

イ. 在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。

b) Present residence card so that your resident status can be confirmed.

ウ. 授業料免除を希望する私費外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください。(45ページ参照)

c) Privately funded international students, who wish to be exempted from tuition payment, should also submit tuition exemption application documents (refer to page 45)

《注1》『2 出願資格 (2)または(9)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の学校長等が作成したものと、高等専門学校の専攻科出身の人は、高等専門学校等及び専攻科の両方を提出してください。

Note 1 For those applying under items (2) or (9) of section "2 Eligibility", the official academic transcripts must be prepared by the principal of the last school attended; whereas, those who studied in non-degree courses at technical colleges must submit official transcripts for both technical college and non-degree courses.

《注2》『2 出願資格 (2)または(9)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書とし、『2 出願資格(2)』の場合は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書または最終学校の学校長等が証明した学位授与申請予定証明書も併せて提出してください。

Note 2 For those applying under items (2) or (9) of section "2 Eligibility", the certificate must be the graduation (completion) certificate or certificate of expected graduation of the last school attended; whereas, those applying under item (2) of section "2 Eligibility", must also include degree certification from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education or from the last school attended signed by the principal.

- * 一部の出願書類については本学ホームページの入試情報 (http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html) よりダウンロードできます。
Some admission application forms can be downloaded from the KIT entrance information webpage (http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html).
- * その他、必要に応じて別途書類の提出を求められることがあります。
Other documents may be requested as necessary.
- * 前掲出願書類の提出については、証明書類のコピーは受理できません。
Copies of certificates are unacceptable when submitting aforementioned documents.
- * 出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続きのみに使用します。
Any personal information provided in application documents will only be used for contact purposes after application, eligibility confirmation, admission selection, statistical surveys, notification of acceptance and admission formalities.
- * 入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学科・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。
Academic records in admission selection will only be used for admission selection, management and analysis of academic records to compile statistical data, investigation on entrance examination results, screening of persons applying for registration fee and /or tuition waiver and screening of scholarship applicant for recommendation.

7 選抜方法 Selection Method

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

Selection of entrants will be conducted based on a combination of results of entrance exams and review of submitted application documents.

8 アドミッションポリシー Admission Policy

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

All programs look to provide the relevant specialized educational research to develop research students with the qualities as stated below. The programs also seek for students possessing the following abilities and attitudes required to complete their specialized education and to carry out their research.

応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology

人材育成の目標 Aims and Purposes

分子から生態までの広範な領域の生命現象に関する基礎知識を修得するとともに、その有効利用のためのバイオテクノロジーを活用して、将来に向けた新しいライフサイエンス時代を担うことができる研究技術者の育成を目指します。

Students in this program will acquire basic knowledge on various life phenomena from molecules to ecology and will be directed toward applying this knowledge to the field of biotechnology. The program aims to foster researchers and engineers who can play an active role in a new era of life science.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

生物学、生物化学に関する専門的な知識を有し、応用生物学やバイオテクノロジー分野での国際的活躍に意欲のある人を求めます。

We are looking for applicants who possess specialized knowledge of biology and biochemistry and who are eager to take an international role in the areas of applied biology and biotechnology.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 生命と自然に対する敬愛 Reverence for life and nature
- ・ 探求心と観察力 Observant and curious nature
- ・ 柔軟な発想 Flexible thinkers
- ・ 独創的チャレンジ精神 Creative mind and determined spirit

材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials

人材育成の目標 Aims and Purposes

材料創製化学の要となる高分子材料化学、無機物性工学、材料物理化学、並びに光電子工学に関する十分な基礎知識を持ち、高分子材料やセラミック材料などの物質の高次構造化・機能化のアプローチにより実効性あるイノベティブな革新材料開発を実現する応用能力を身につけ、研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚、国際

性を併せ持つ人材を育成します。

Graduates are trained to have a basic knowledge in chemistry for polymeric materials, inorganic materials, and optoelectronics which are the essence for the innovation of materials. Graduates have trained to have the practical ability to realize the developments of the effective innovative materials through the approaches of higher ordered structures and functionality of materials such as macromolecular materials or ceramic materials. Resultant graduates will be research engineers and persons possessing broad and deep knowledge, self-awareness, and international-mindedness.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

高分子材料やセラミック材料の専門領域に対して強い関心を示し、それらの材料を科学する心の知性と実現する意欲を持つ人を求めます。特に、国際的な視野から問題発掘できる能力を重視します。

We desire the students who have strong interest in macromolecular materials and ceramic materials, and who are intellectually capable of scientific analysis of these materials, and who have an eagerness to undertake these studies. In the selection, the importance is the ability to address the problems from the international points of view.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 科学する心の知性と洞察力 Intellectual aptitude for studying science and having insights
- ・ 積極的な発信力、表現力、コミュニケーション力 Ability to express ideas in a positive manner and communicate effectively
- ・ 社会に対する自覚 Social awareness
- ・ 研究技術者としての論理的判断力 Logical judgment derived from being research engineers

材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control

人材育成の目標 Aims and Purposes

高い機能を持つ材料を扱う研究技術者は、高分子、無機材料などの個々の特性についての知識に止まらず、機能の源となる基礎的な性質について深く理解していることが求められます。材料制御化学専攻では、それらの知識と理解に基づき、社会に役立つ材料とは何かを考え、将来への見通しを持つ人材、さらに自らの技術力をグローバルに展開する国際性を持つ人材を育成します。

Research engineers handling materials that have high functions are required not only to have knowledge of the properties of individual substances such as macromolecular materials and inorganic materials, but also to have a deep understanding of the basic characteristics that constitute the sources of functions. In the Master of Material Properties Control course, the following activities are carried out: based on the above-mentioned knowledge and understanding, consideration is given to the issue of what materials are useful for society; competent persons who have foresight into future developments and competent persons who have international-mindedness whereby their own technical ability is deployed on a global basis are trained.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

高分子物質、無機物質などの集合体による、材料のブレークスルーを実現することを志向しつつ、真に豊かな社会の発展を目指す人を求めます。特に、国際的な視野から問題発掘できる能力を重視します。

Such persons are sought who aim at the development of a truly prosperous society, while aspiring to realize material breakthroughs by means of aggregates consisting of substances such as macromolecular materials and inorganic materials. In particular, importance is attached to the ability to discover problems from international points of view.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 自ら考える能力 Self motivated thinkers
- ・ 現象の多様性と法則性を共に認識する能力 Ability to recognize both diversity of phenomena and principles thereof
- ・ 自分の意見を正しく伝え、深いディスカッションを行う能力 Ability to correctly communicate opinions and to participate in in-depth discussions
- ・ 社会における自らの役割と責任を自覚する能力 Ability to develop awareness of roles and responsibilities in society

物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis

人材育成の目標 Aims and Purposes

有機物質の最小構成単位である分子の設計原理の解明や合成手法の開拓を通して、新素材や先端機能材料の開発を目的とした教育・研究を行い、自然との共生を念頭に置いて、自ら考え行動できる積極性、創造性、そして国際性を併せ持つ人材の育成を目指します。

The following activities are carried out: Clarification of the design principles of molecules, the smallest constituent units of organic substances; pioneering of synthesis techniques; education and research aimed at the development of new materials and state-of-the-art functional materials. Sights are set on training competent persons who concurrently are highly motivated, creative, and international-minded, and who can think and initiate action, while keeping symbiosis with nature in mind.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

物質の合成に強い興味と関心を持ち、化学に関する幅広い基礎知識を備え、環境との調和を考えながら、原子・分子レベルでの物質創成を通して有用な新規材料の開発を進めていける、国際感覚に優れた人材を求めます。

Such persons are sought who have strong interest in substance synthesis, who are equipped with a broad foundation in chemistry, who can promote the development of useful new materials through the creation of substances at the atomic and molecular levels and who excel in international sensibility.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・自然科学に対する強い関心 Strong interest in natural sciences
- ・化学、物理、数学などの基礎学力 Basic academic ability in chemistry, physics, mathematics, etc.
- ・基礎学力に基づいて研究を発展させる創造性と論理的思考力 Foundational academic ability, creativity, and a logical academically-rooted intellect capable of research development
- ・手ずから実験を行うことのできる積極性と行動力 Highly assertive, self motivated and able to conduct experiments without supervision
- ・コミュニケーション能力 Communication ability

機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry

人材育成の目標 Aims and Purposes

生体関連物質等の機能性物質の構造と機能の精密解析及び機能性物質の創成と応用に関連する研究経験から、洞察力と問題解決能力を身につけた研究技術者の育成を目指します。

Sights are set on training research engineers who have insight and problem-solving abilities resulting from precision analyses of the structures and functions of functional substances such as bio-related substances and from research experience related to the creation and application of functional substances.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

生命科学と化学の学際領域を担う機能性物質の構造と機能について強い興味と関心を持ち、研究遂行する上で不可欠な基礎知識と基礎学力を備えた人を選抜します。特に、国際的な視点に基づく研究課題を解決する能力を備えた者を重視します。

Selection is made of persons who have strong interest in the structures and functions of functional substances that play important roles in the interdisciplinary domain between chemistry and life sciences and who are equipped with basic knowledge and basic academic abilities indispensable to carrying out research. In particular, importance is attached to persons equipped with the ability to solve tasks that are based on international points of view.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・機能性物質に対する深い興味と化学、数学、物理、生化学の基礎学力
Deep interest in functional substances and fundamental academic ability in chemistry, mathematics, physics, and biochemistry
- ・コミュニケーション能力及び議論する能力 Communication skills and ability to discuss
- ・研究技術者としての論理的判断力 Able to make logical judgments befitting research engineers
- ・グローバルな視点で研究テーマを設定する洞察力 Insight to develop research subjects from global perspective

電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics

人材育成の目標 Aims and Purposes

エレクトロニクス基盤技術や情報通信技術を修得するとともに、高度な専門知識に基づく将来に向けた新しい技術の開発を先導する能力、新しい技術を社会に応用、適合させるための総合力を身につけた人材の育成を目指します。

This program is designed to offer advanced knowledge of electronic engineering technology and information and communications technology. Students are also expected to develop the ability to demonstrate individual initiative in developing new technology, based on the specialized knowledge acquired in the program as well as the ability to take an integrated approach so that newly developed technology can be applied in the real world.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

修学及び研究活動に必要な英語力、基礎学力、希望研究分野に関連した専門基礎知識、研究意欲を求めます。

Such persons are sought who are equipped with English ability and basic academic ability required for the course of study and the research activity; who has the specialized basic knowledge and eagerness regarding their desired research fields.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・チャレンジ精神と行動力 Determined spirit and the strength to act
- ・論理的な思考力と設計能力 Ability to think ahead and think logically
- ・数理的解析能力 Ability to analyze things mathematically
- ・感性と創造力 Creative and intuitive
- ・自己表現能力 Capable of accurate communication and self-expression

情報工学専攻(2018年(平成30年)4月入学) Master's Program of Information Science(April admissions for 2018)

人材育成の目標 Aims and Purposes

あらゆる産業基盤を支えているICTについての高度な知識と技能を身に付け、情報機器製造業を初めとする様々な製造業において、またICTを活用したサービス事業を展開する企業において、さらにはICTに関連した様々な企業及び教育・研究機関において、リーダーシップを持ちつつ自発的かつ国際的に研究・開発を行い、人間中心型の豊かな情報社会の構築を先導する研究技術者を育成します。

This program aims to develop international researchers and engineers who will lead realizing a human oriented affluent information society by developing information and communication technology based on the specialized knowledge and skills in manufacturing industry, service industry, educational and research institution, and other companies related to ICT.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専攻での教育・研究に必要な情報工学、数学の知識及び研究活動に必要な英語能力と修学に必要な日本語能力を有し、豊かな情報社会を実現する強い熱意を持って、グローバルな視点で研究・開発に取り組む意欲のある人を求めます。

We are looking for applicants who have the required knowledge of mathematics and information technology as well as the required English and Japanese communication skills to pursue study and research in this program. Students are expected to have ambition to engage in research and development from global perspective with a strong desire to realize affluent information society.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・チャレンジ精神と行動力 Determined spirit and the strength to act
- ・論理的な思考力 Ability to think logically
- ・数理的解析能力 Ability to analyze things mathematically
- ・感性と創造力 Creative and intuitive
- ・自己表現とコミュニケーション能力 Capable of accurate communication and self-expression
- ・人間や社会に対する興味 Interest in people and social issues

情報工学専攻(2017年(平成29年)秋入学) Master's Program of Information Science(Fall admissions for 2017)

人材育成の目標 Aims and Purposes

より豊かで人間的な高度情報化社会を実現するために、現代社会の基盤をなす情報通信技術を発展させ21世紀の

ヒューマン・サイエンスを構築できる人材の育成を目指します。

This program aims to develop human resources who will contribute to realizing a more affluent advanced information society by developing information and communications technology/ which serves as a foundation for today's society and by playing an active role in establishing the human sciences of the 21st century.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専攻での教育・研究に必要な数学および情報工学の知識を有し、修学に必要な日本語の能力を有する人を求めます。

We are looking for applicants who have the required knowledge of mathematics and information technology as well as the required English communication skills to pursue study and research in this program.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ チャレンジ精神と行動力 Determined spirit and the strength to act
- ・ 論理的な思考力 Ability to think logically
- ・ 数理的解析能力 Ability to analyze things mathematically
- ・ 感性と創造力 Creative and intuitive
- ・ 自己表現能力 Capable of accurate communication and self-expression
- ・ 人間や社会に対する興味 Interest in people and social issues

機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics

人材育成の目標 Aims and Purposes

機械工学の根幹をなす力学分野を中心に、様々な物理現象を理解するための理論的、実験的及び数値的解析手法を身に付け、実際の工学的問題に応用する能力を有し、国際的に活躍できる「探究的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を送り出すことを目的としています。

The purpose here is to send out into the world mechanical engineers and researchers who have mastered theoretical, experimental and numerical analysis techniques for understanding various physical phenomena, centered around mechanics, which forms the basis of mechanical engineering. Graduates of this program have the ability to apply these techniques to actual engineering problems, can play active roles at an international level and have exploratory value creation ability.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

自然現象に興味があり、機械工学の基礎学力を有し、自然に対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める人を求めます。

Such persons are sought who are interested in natural phenomena, who are equipped with basic academic ability in mechanical engineering; who have curiosity and deep insight regarding nature; and who are further capable of setting up problems by themselves and dealing with solutions to these problems on an original, state-of-the-art and persistent basis.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 好奇心 Curiosity
- ・ 独創性 Originality
- ・ 挑戦する意欲 Eagerness to attempt challenges
- ・ 論理的思考力 Logical
- ・ 深い洞察力 Deeply insightful

機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign

人材育成の目標 Aims and Purposes

機械工学のみならず幅広い先端的テクノロジーに精通し、これらの工学的知識を横断的に駆使することによりイノベーションをデザインする能力を有し、国際的に活躍できる「実践的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を送り出すことを目的としています。

The purpose here is to send out into the world mechanical engineers and researchers who are familiar not only with mechanical engineering but also with extensive state-of-the-art technologies, who have the ability to design innovations by making full use of engineering knowledge on a cross-sectional basis, who can play globally active roles and who are skilled in practical value creation.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

ものづくりが好きで、機械工学の基礎学力を有し、自然に対する興味や好奇心、深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める人を求めます。

Such persons are sought who are attracted to manufacturing; who are equipped with basic academic ability in mechanical engineering; who have interest, curiosity, and deep insight regarding nature; and who are further capable of setting up problems by themselves and dealing with solutions to these problems on an original, state-of-the-art and challenging basis.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・好奇心 Curious
- ・独創性 Originality
- ・挑戦する意欲 Eagerness to attempt challenges
- ・論理的思考力 Logical
- ・先見性 Prescient

デザイン経営工学専攻 Master's Program of Design Engineering and Management

人材育成の目標 Aims and Purposes

経営、デザイン、工学を融合したデザイン経営工学をもとに、広い視野から、ものの機能とその評価、ものづくりの仕組みやビジネスを構想する能力を発揮することで、社会と産業に貢献し、生活環境や生活スタイルの革新をリードする人材を育成します。

This program focuses on a combination of design engineering and management, the three major areas of human creative activity, to develop human resources that will lead the innovation of living environments and life styles and contribute to the development of society and industry. Students are expected to develop the capacity for broad-perspective, highly creative conceptualization within business, manufacturing mechanisms, functionality and evaluation.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

表現・造形の基本形をマスターしたデザイン系・建築学科系の大学の卒業生、経営系学科、生活科学系学科、エンジニアリング系学科の卒業生及びそれらと同等の学力を有するモノづくり・空間づくりに関心のある他学科の卒業生で外国国籍の人を求めます。

We are looking for foreign national applicants who are graduates of university level design, architecture, management, home economics or engineering faculties, or who have equivalent academic ability and show strong interest in creating products and spaces.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・感知力：新しさ、楽しさ、美しさへの感性と理解力 Perceptively sensitive to difference, delight and beauty
- ・思考力：論理的思考力と柔軟な発想、構想力 Intelligently able to think logically and flexibly and the ability to come up with conceptual ideas
- ・表現力：コミュニケーションとプレゼンテーション能力 Expressively effective communication and presentation skills
- ・行動力：他人を尊敬できリードできるパワー Decisively motivated leaders respectful of others

デザイン学専攻 Master's Program of Design

人材育成の目標 Aims and Purposes

①デザイン学領域 The Field of Design

プロダクトやグラフィック、インテリア等の専門的デザイン能力をベースに、京都独自の伝統意匠の理論・方法論も活かして革新的な製品やサービスをデザインすることができる人材を育てる。また、海外から招聘する世界的なデザイナーや研究者の指導のもと、異分野混合チームでの産学連携プロジェクト等を経験させることで、様々な分野で国際的に活躍できるデザイン能力を修得させる。

This program aims to develop individuals who are capable of designing innovative products and services based on their specialized design skills, such as product, graphic, and interior designing, using the theories, methodologies and traditions of design that are unique to Kyoto. Working with and under the mentorship of designers and researchers from abroad, students will gain the experience of working with people from other fields in a multidisciplinary team for industry-academia collaboration products. In this way, they will acquire the necessary skills to develop and implement their designs internationally.

②価値創造学領域 The Field of Value Generation

美術、デザイン、建築などの作品や作者についての深い洞察に根ざした「論理構築」と（キュレーション（展示企画））という「実践」を通して、作品や作者の「価値」を自らの視点で言葉や展示にして、（広く世界に発信することができる）人材の育成を目的とする。

This program aims to cultivate individuals who are capable of “logic construction” and “exhibition curation rooted in a profound insight into art, design, and architectural works and their creators. They should be able to unlock and interpret the value and meaning of such works and their creators and translate this into words and exhibits based on their own perspectives.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

デザイン全般に関する基本的な知識と制作経験を持ち、柔軟で独創的な発想力を備え、さらに深いデザイン知識とより実践的なデザイン方法論を研究・実践していく意欲ある人を求めます。（また、専門分野についての知識習得並びに理論的研究に終始せず、それを基盤として、美術館・博物館での展示等の社会的実践に繋げていく意欲のある人を求めます。）

In the area of design, we seek applicants who possess basic knowledge and experience concerning design, who have the ability to think flexibly and innovatively and are highly motivated to make a profound study of design and its methodologies and to put them into practice.

Successful applicants must have basic knowledge and production experience, flexible and original ideas, in-depth knowledge of design, and a desire to study and implement practical design methodologies and outputs. They should also have the desire not only to acquire knowledge and study the theory but also connect this to social practices in the form of exhibitions at art galleries and museums, and other venues.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・美に対する感受性 Keen aesthetic awareness
- ・人間や環境に対する深い関心 Sincere interest in humanity and the environment
- ・理論と実践のバランス Able to balance theory and practice
- ・独創的な思考力 Creative thinkers
- ・強い意欲と行動力 Strongly motivated and act decisively

建築学専攻 Master's Program of Architecture

人材育成の目標 Aims and Purposes

都市・建築における〈KYOTO デザイン〉教育、すなわち歴史と先端性が同居する京都の特性を活かした、地域に根ざすと同時に国際的な競争力のある都市・建築教育を行い、建築家、建築技術者、都市プランナー、修復建築家等の高い実践能力を持つ人材を育成する。

そのために世界中から第一級の専門家を中長期にわたって招致するとともに、本学教員、学生も広く海外へ教育・研究活動を展開して、地球規模での研究力及び実践力を修得させる。また、京都だからこそ可能な都市・建築遺産のストック活用とマネジメントの技能を磨くことで、場所に即しながらも普遍的な修復・再生に関する専門能力を身につける。

そして、これらの教育体制と研究蓄積を資源として立ち上げるデザイン工房・研究施設において、具体的な建築設計や都市・建築再生マネジメント等を実践することで、社会問題の解決あるいは社会的価値の創造の能力を伸ばす。

こうして環境における空間的広がりや時間的厚みを未来に向けて高次元に統合し構想する、〈KYOTO デザイン〉の担い手を養成する。

This graduate programme in <KYOTO Design> offers a globally competitive community-based education in the fields of urbanism and architecture with a focus on the characteristics of Kyoto, where tradition and innovation co-exist. It aims to nurture high-level practical skills in architectural engineers, urban planners and architects specializing in restoration.

To this purpose, the university invites leading experts from around the world for mid to long-term periods while faculty staff and students undertake educational and research activities worldwide to enhance their research ability and practical skills. The students can also develop expertise in the utilization and management of existing urban and architectural properties and acquire specialist skills in restoration and renovation, which are both community-based and universal. This is unique and only possible in Kyoto.

The design workshops and research facilities are based on the above-mentioned educational system and

research achievements, and enable our students to practice more specific architectural design as well as urban and architectural renovation management. In this way, they will be able to develop the ability to resolve social issues and create new social values.

The goal of this master's programme is to provide next-generation leaders in <KYOTO Design>, who are able to envisage and integrate the extent of space and time for the future to a high degree.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

京都という地において都市・建築を学ぶことの意義に意識的な人、すなわち、自然・都市・住環境の一体性を志向した総合力・論理的思考力、都市・建築における歴史と場所性に寄り添う思考態度、京都の国際的ブランド力を活かして地球規模で都市・建築とそのデザインを考える発想力と創造意欲を求めます。

We seek applicants who are aware of the significance of learning urbanism and architecture in Kyoto. In other words, applicants should possess general ability and logical thinking skills related to the integrity of natural, urban and living environments, an approach and attitudes sensitive to the history and local characteristics in terms of urbanism and architecture, imagination and creativity to design and think about urbanism and architecture on a global scale by making the most of the international popularity of Kyoto.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 京都という地の特性への理解 Understand the inherent qualities of Kyoto
- ・ 人間、環境、文化、歴史への関心 Interest in humanity, environment, culture and history
- ・ 建築設計に関する基礎的能力 Solid grounding in architecture
- ・ 美に対する感受性と表現力 Highly-developed aesthetic sensitivity and the ability to express it
- ・ 地球規模での活動への意欲と行動力 Motivation to act decisively on a global scale

先端ファイブ科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science

人材育成の目標 Aims and Purposes

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを学ぶことにより、人と環境に優しいものづくりができ、かつ未知のものに向かって自らの考えでアプローチができる応用力を身につけた人材を育成します。

Students in this program will pursue human-oriented and environmentally friendly functions and systems by learning textile science and engineering. This program is designed to foster self-driven professionals equipped with the spirit to tackle the unknown as well as practical and applicable skills.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもること無く広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

We are looking for applicants who possess basic academic abilities in natural science, who have an intense curiosity to pursue extensive knowledge beyond their own interest, who are capable of identifying and resolving problems and offering logical explanations, and who have the passion and perseverance necessary to reinvest the results of their research in society.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 独創的思考力と感性 Creative thinkers capable of thinking independently
- ・ 人間社会、環境に対する深い関心 Concerned about environment and social issues
- ・ 問題の発見力と解決意欲 Positive approach to identifying and resolving problems
- ・ チャレンジ精神と行動力 Determined spirit and ability to act decisively

バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science

人材育成の目標 Aims and Purposes

今世紀の中核素材となる「バイオベースマテリアル」に関する新しい材料科学・工学を切り拓きながら、新時代を担いうる研究者・技術者を育成します。

This program aims to foster researchers and engineers who are capable of exploring new areas in material science and engineering relating to biobased material, or plant-derived materials, and taking a leading role in a new era of biobased products.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

将来にわたって豊かな人間生活を保持するために低炭素社会を実現する必要性を理解し、有機化学、物理化学、

生化学、高分子化学の内の一つに十分な基礎知識を有し、かつ他分野の知識習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す志を持つ人を求めます。

We are looking for individuals who are aware of the need to realize a low-carbon society to ensure that humanity can maintain an affluent life. Applicants must have a solid grounding in organic chemistry, physical chemistry, biochemistry, or high polymer chemistry, and must be highly motivated to acquire broader knowledge in areas outside their own interests and pursue research on biobased materials.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・バイオベースマテリアル (BBM) に対する強い興味と関心 Strong interest in biobased materials (BBM)
- ・有機化学、物理化学、生化学、高分子化学のいずれかに関する十分な基礎知識
Solid grounding in organic chemistry, physical chemistry, biochemistry, macromolecular chemistry, physical properties of macromolecules
- ・新しい BBM 開発や BBM のさらなる展開を目指す強い意志と、関連分野の学修に対する旺盛な意欲
Strong desire to develop new BBMs and investigate their applications, as well as strong motivation to pursue study and research in related areas
- ・国際的な舞台で、創造的に新しい社会を開拓しようとする意欲と行動力
Keen enthusiasm to play an internationally active role in creating a new type of society

9 学力検査日時、検査方法及び場所等

Examination Date, Place and Method

(1) 学力検査日時及び科目 Examination subjects and schedule

① 2018年(平成30年)4月入学 April Admissions for 2018

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	13:00~	100	応用生物学について実施する。 Applied biology
材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Questions on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Questions on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Questions on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Questions on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	50	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 10:00~12:00 (120分 / 120 minutes) Specialized subject	150	電磁気学、電気回路、電子回路の3題 Questions on three topics: electromagnetism, electric circuits and electronic circuits
		口述試験 Oral exam	13:30~	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等について実施する。 Questions on specialized knowledge in subjects relating to the field of choice
情報工学専攻 Master's Program of Information Science	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 9:30~12:00 (150分 / 150 minutes) Specialized subject	300	プログラミング、ハードウェア、情報通信の3題 Questions on three topics: programming, hardware and information communication
		口述試験 Oral exam	13:30~	50	基礎的な知識を問うことがある。日本語による試問を含む。 Questions on basic knowledge, including interviews in Japanese.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定書のスコアに より、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記 試験 Written exam	小論文 13:00~14:30 (90分 / 90 minutes) Short essay	300	日本語による小論文。 志望する研究分野及び関連する分野にお ける知識・学力等を問うことがある。 Writing a short essay in Japanese and answering questions that test your knowledge and scholastic ability related to your research area.
機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定書のスコアに より、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記 試験 Written exam	小論文 13:00~14:30 (90分 / 90 minutes) Short essay	300	日本語による小論文。 志望する研究分野及び関連する分野にお ける知識・学力等を問うことがある。 Writing a short essay in Japanese and answering questions that test your knowledge and scholastic ability related to your desired research area.
デザイン経営工学 専攻 Master's Program of Design Engineering and Management	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定書)のスコア により、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記 試験 Written exam	専門科目 10:00~12:00 (120分 / 120 minutes) Specialized subject	100	デザイン学、エンジニアリング学、マネ ジメント学のうちから(実技を含む)1 題を選択 Select one of the topics from: design, engineering or management (includes practical testing)
		筆記 試験 Written exam	小論文 13:00~14:00 (60分 / 60 minutes) Short essay	100	日本語または英語によるデザイン経営工 学に関する小論文 Writing a short essay in either Japanese or English on design engineering and management.
		口述 試験 Oral exam	14:15~	100	修士論文研究計画及び関連する専門的知 識について実施する。 Questions on your master's thesis proposal and the related specialized knowledge.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
デザイン学専攻 Master's Program of Design	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		実技または筆記試験 Practical or written exam	専門科目 9:00~12:00 (180分 / 180 minutes) Specialized subject	300	デザイン実技または小論文 Practical design examination or a short essay
		口述試験 Oral exam	14:00~	200	持参作品集(ポートフォリオ)または研究テーマを説明する資料等(パネル等)について実施する。また、日本語による試問を含む。 Questions on your portfolio or materials that describe your research theme (i.e. panelboards) brought to entrance examination. Also includes interviews in Japanese.
建築学専攻 Master's Program of Architecture	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		実技または筆記試験 Practical or written exam	専門科目 9:00~13:00 (240分 / 240 minutes) Specialized subject	300	建築設計または小論文のうちから1つを選択。小論文については、建築史・建築計画・建築設備・建築構造の分野から出題 Choose either an architectural design examination or writing a short essay. For short essay, the topic is related to the fields of architectural history, architectural planning, architectural facilities and architectural structures.
		口述試験 Oral exam	14:00~	200	研究計画及び関連する専門的知識について、または持参作品について実施する。 Questions on your research proposal and related specialized knowledge as well as your portfolio brought to entrance examination.
先端ファイブロ科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)	筆記試験 Written exam	外国語 9:30~12:00 (150分 / 150 minutes) Foreign language	100	英語 English
		口述試験 Oral exam	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施する。日本語による試問を含む。 Questions on specialized knowledge related to your desired research area, including interviews in Japanese.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science	2018年 (平成30年) 2月1日(木) 1 Feb. 2018 (Thu)	筆記 試験 Written exam	外国語 9:00~10:30 (90分 / 90 minutes) Foreign language	100	英語 English
		口述 試験 Oral exam	11:00~	200	専門的な知識を問う。 Questions on specialized knowledge.

② 2017年(平成29年)秋入学 Fall Admissions for 2017

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug. 2017 (Tue)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定書のスコアにより、 評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	13:00~	100	応用生物学について実施する。 Applied biology
材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug. 2017 (Tue)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定書のスコアにより、 評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての 基礎及び専門的学力について問う。 Questions on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug. 2017 (Tue)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定書のスコアにより、 評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての 基礎及び専門的学力について問う。 Questions on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Questions on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Questions on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	50	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 10:00~12:00 (120分 / 120 minutes) Specialized subject	150	電磁気学、電気回路、電子回路の3題 Questions on three topics: electromagnetism, electric circuits and electronic circuits
		口述試験 Oral exam	13:30~	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等について実施する。 Questions on specialized knowledge in subjects relating to the field of choice

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content	
情報工学専攻 Master's Program of Information Science	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)	/	外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	150	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.	
			筆記試験 Written exam	数学 10:00~12:00 (120分 / 120 minutes) Mathematics	150	微積分(常微分方程式を含む)、線形代数、確率統計の3題 Calculus (including ordinary differential equations), linear algebra, and probability and statistics
			筆記試験 Written exam	専門科目 13:30~15:30 (120分 / 120 minutes) Specialized subject	200	プログラミング(C, Java, データ構造とアルゴリズム) Programing (C, Java, data structure and algorithms)
	2017年 (平成29年) 8月23日(水) 23 Aug, 2017 (Wed)	口述試験 Oral exam	13:30~	100	基礎的な知識を問うことがある。日本語による試問を含む。 Questions on basic knowledge, including interviews in Japanese.	
機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)	/	外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.	
			筆記試験 Written exam	専門科目 13:00~14:30 (90分 / 90 minutes) Specialized subject	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各2題(計8題)のうちから2題を選択。 Two questions each (total of eight questions) from the following fields: Strength of Materials, Kinematics and Dynamics of Mechanical Systems, Thermodynamics, and Fluid Dynamics
機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)	/	外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.	
			筆記試験 Written exam	専門科目 13:00~14:30 (90分 / 90 minutes) Specialized subject	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各2題(計8題)のうちから2題を選択。 Two questions each (total of eight questions) from the following fields: Strength of Materials, Kinematics and Dynamics of Mechanical Systems, Thermodynamics, and Fluid Dynamics.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
デザイン経営工学 専攻 Master's Program of Design Engineering and Management	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定書のスコアに より、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	13:00~	200	修士論文研究計画及び関連する専門的知 識について実施する。 Questions on your master's thesis proposal and the related specialized knowledge.
デザイン学専攻 Master's Program of Design	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC個人用公式認定書のスコアに より、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		実技または 筆記試験 Practical or written exam	専門科目 13:00~16:00 (180分 / 180 minutes) Specialized subject	300	デザイン実技または小論文 Practical design examination or a short essay
	2017年 (平成29年) 8月23日(水) 23 Aug, 2017 (Wed)	口述 試験 Oral exam	9:00~	200	持参作品集(ポートフォリオ)または研 究テーマを説明する資料等(パネル等) について実施する。また、日本語による 試問を含む。 Questions on your portfolio or materials that describe your research theme (i.e. panelboard) brought to entrance examination. Also includes interviews in Japanese.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

専攻名 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
建築学専攻 Master's Program of Architecture	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)		外国語 (筆記試験は実施しない。) Foreign language (No written examination)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定書のスコアにより、評価する。 Official TOEIC score certificate submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		実技または筆記試験 Practical or written exam	専門科目 13:00~17:00 (240分 / 240 minutes) Specialized subject	300	建築設計または小論文のうちから1つを選択。小論文については建築史・建築計画・建築設備・建築構造の分野から出題。 Choose either an architectural design examination or writing a short essay. For short essay, the topic is related to the fields of architectural history, architectural planning, architectural facilities and architectural structures.
	2017年 (平成29年) 8月23日(水) 23 Aug, 2017 (Wed)	口述試験 Oral exam	1日目に集合時間を発表 9:00~ The meeting time will be announced on the 1 st day.	200	研究計画及び関連する専門的知識または持参作品について実施する。 Questions on your proposal research and related specialized knowledge as well as your portfolio brought to entrance examination.
先端ファイブロ科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)	筆記試験 Written exam	外国語 9:30~12:00 (150分 / 150 minutes) Foreign language	100	英語 English
		口述試験 Oral exam	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施する。日本語による試問を含む。 Questions on specialized knowledge related to your desired research area, including interviews in Japanese.
バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science	2017年 (平成29年) 8月22日(火) 22 Aug, 2017 (Tue)	筆記試験 Written exam	外国語 9:00~10:30 (90分 / 90 minutes) Foreign language	100	英語 English
		口述試験 Oral exam	11:00~	200	専門的な知識を問う。 Questions on specialized knowledge.

(2) 試験場 Examination Rooms:

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地)

試験室等は、次の日までに本学のホームページ (http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html) 及び入試課前掲示板に掲示します。

① 2018年(平成30年)4月入学: 2018年(平成30年)1月31日(水)

② 2017年(平成29年)秋入学: 2017年(平成29年)8月21日(月)

KIT Matsugasaki Campus (1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Japan)

Examination rooms will be posted on the KIT Admissions Office bulletin board and on KIT's homepage (http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html) by the following dates.

① April admissions 2018: 31 January 2018 (Wed).

② Fall admissions 2017: 21 August 2017 (Mon).

(3) 受験についての注意 Examination Precautions

共通の注意事項 Common Precautions for All Students

- ① 受験者は、試験の当日受験票を持参し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は入試課へ申し出てください。

Examinees must present their admission ticket on the examination-day and follow the supervisor's directions. Examinees without admission tickets may not be able to take the examination. If you have lost or failed to bring your admission ticket, please inform the Admissions Office.

- ② 受験者は、試験の当日試験開始30分前までに試験場に到着してください。

Examinees should arrive at the examination room 30 minutes before the examination starts.

- ③ 受験者は、各試験科目開始20分前までに所定の試験室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。

Be certain to enter the examination room 20 minutes before the start of each specific examination subject and be seated at the desk which has your examinee number.

- ④ 試験開始後、試験室に30分以上遅刻してきた場合は受験することができません。

Examinees arriving later than 30 minutes after the scheduled starting time will not be allowed to take the examination.

- ⑤ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。

Examinees who do not take ALL the designated subjects are disqualified and will not be permitted to take the examination again at a later date.

- ⑥ 試験には、黒鉛筆またはシャープペンシル（黒）及び消しゴムを持参してください。

Examinees should bring black pencils and/or black mechanical pencils and erasers to the examination.

- ⑦ 試験中は、時計並びに監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。

Examinees must not place any objects on the desks apart from single-function watches (or those with alarms) and/or other objects mentioned by the examination supervisors.

- ⑧ 試験中不正行為をした者及び不正行為とみなされる行動があった者、または監督者の指示に従わない者は、直ちに受験の停止を命じます。

Examinees who act, or are deemed to have acted, dishonestly or who do not follow the instructions of the supervisor during the examination will be commanded to immediately stop taking the examination.

- ⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる人は、事前に入試課に申し出てください。

Examinees who are physically unable to take the examination in the designated examination room should consult the Admissions office in advance.

- ⑩ 試験時間中に気分が悪くなったり、受験することが困難と思われた人は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、次の試験時間の遅刻限度を超過した場合は、当該試験の受験も認めません。

If you become ill during the examination and can not continue, inform the examination supervisor and follow his/her instructions. You may come back to the examination room if you feel better after resting at the clinic. Note that no extension of the examination time will be accepted. In addition, if you are more than 30 minutes late for the next examination subject, you will not be allowed to take the next examination.

- ⑪ 時計以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。

Only single-function watches (or those with alarms) are allowed on the examination desk. Pens, pencils, erasers, etc. must also be single-function implements.

- ⑫ 携帯電話は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。

Before entering the examination room, turn off all mobile phone alarms and completely switch off the power. Mobile phones must be stored in your bag during the examination and must not be used as clocks. If your clock has an alarm function it must be turned off so that it does not ring.

- ⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着てい

ただることがあります。膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものだけに限り使用を認めます。

Examinees must not wear clothing that is printed with writing, numerical formulas and/or any other such symbols. If found to be wearing such clothing, the examinee concerned may be asked to wear the clothing inside out. Lap robes are allowed provided they too are not printed with writing, numerical formulas and/or any other such symbols.

専攻ごとの注意事項 Cautions for each Master's Program

① 2018年(平成30年)4月入学 April Admissions for 2018

◆ デザイン経営工学専攻 Master's Program of Design Engineering and Management

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、希望指導教員にあらかじめ連絡・確認しておいてください。

With regard to your application, please contact the prospective supervisor with whom you wish to study in advance to confirm desired research content and avoid misunderstandings.

口述試験：活動歴、業績などがわかるような、設計、作品、研究論文、調査報告書等を持参してください。なお、設計、作品、研究論文、調査報告書等は、写真またはコピー等で代えることができます。

Oral examination: Please bring any materials (such as designs, works, research papers and survey reports) that will help explain your past activities and work achievements. Note that photos and/or copies of the aforementioned materials can be used for this purpose.

◆ デザイン学専攻 Master's Program of Design

下記のものを持参してください。

Please bring the following on the examination day.

ア. デザイン実技：描写用鉛筆、製図用具、彩色用具、辞書（電子辞書を含む）、卓上計算機。

Design practicum: Drawing pencils, drawing instruments, coloring equipment, dictionary (including electronic dictionary) and desktop calculator

イ. 口述試験：デザイン作品のうち3点以上もしくは研究計画について実施します。なお、作品は写真等で代えることができます。

Oral examination: Questions will be asked about three or more of your designs/works or about your research proposal. Note that photos can be used in place of the actual work.

ウ. 実技試験開始前に、試験会場で作品ポートフォリオ1冊もしくは研究計画を説明する資料（パネル等）を提出すること（ポートフォリオの大きさ、中身の作品点数は自由）。提出したポートフォリオ等は午後の口述試験前に控え室にて返却しますので、口述試験室に持ち込んでください。

Before the start of practical examination, at the examination room, examinees must submit a portfolio (there is no restriction on the size or the number of designs/works) or materials, such as panels, that explain their research proposal. The submitted portfolio or materials will be returned in the waiting room before the oral examination is held in the afternoon, so bring them to the oral examination.

◆ 建築学専攻 Master's Program of Architecture

下記のものを持参してください。

Please bring the following on the examination day.

ア. 建築設計の場合：製図用具。プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。ただし、T定規は貸与します。

また、メモ類の持ち込みは一切認めません。

For architectural design: Drawing instruments and battery-powered scientific calculator without program functions. T-squares will be provided. Examinees are absolutely forbidden to bring notes.

イ. 小論文の場合：プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。

For the short essay: Battery-powered scientific calculator without program functions

ウ. 口述試験：建築設計作品のうち代表的な2点以上を説明できる図面、写真等、もしくは研究計

画を説明するにあたって必要と思われる資料。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

Oral examination: Diagrams, photos and data, that can be used to explain two or more of your key architectural works or any materials that you feel are necessary to explain your research proposal. Note, however, that architectural models cannot be brought into the examination room.

◆ バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science

基礎科目の試験においては、プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）を貸与します。

For the basic subject examination: Battery-powered scientific calculators without program functions will be provided.

② 2017年（平成29年）秋入学 Fall Admissions for 2017

◆ デザイン経営工学専攻 Master's Program of Design Engineering and Management

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、希望指導教員にあらかじめ連絡・確認しておいてください。

With regard to your application, please contact the prospective supervisor with whom you wish to study in advance to confirm desired research content and avoid misunderstandings.

口述試験：活動歴、業績などがわかるような、設計、作品、研究論文、調査報告書等を持参してください。なお、設計、作品、研究論文、調査報告書等は、写真またはコピー等で代えることができます。

Oral examination: Please bring any materials (such as designs, works, research papers and survey reports) that will help explain your past activities and work achievements. Note that photos and/or copies of the aforementioned materials can be used for this purpose.

◆ デザイン学専攻 Master's Program of Design

下記のものを持参してください。

Please bring the following on the examination day.

ア. デザイン実技：描写用鉛筆、製図用具、彩色用具、辞書（電子辞書を含む）、卓上計算機。

Design practicum: Drawing pencils, drawing instruments, coloring equipment, dictionary (includes electronic dictionary) and desktop calculator

イ. 口述試験：デザイン作品のうち3点以上もしくは研究計画について実施します。なお、作品は写真等で代えることができます。

Oral examination: Questions will be asked about three or more of your designs/works or about your research proposal. Note that photos can be used in place of the actual work.

ウ. 実技試験開始前に、試験会場で作品ポートフォリオ1冊もしくは研究計画を説明する資料（パネル等）を提出すること（ポートフォリオの大きさ、中身の作品点数は自由）。提出したポートフォリオ等は2日目の口述試験前に控え室にて返却しますので、口述試験室に持ち込んでください。

Before the start of practical examination, at the examination room, examinees must submit a portfolio (there is no restriction on the size or the number of designs/works) or materials, such as panels, that explain their research proposal. The submitted portfolio or materials will be returned in the waiting room before the oral examination is held on the second examination day, so bring them to the oral examination.

◆ 建築学専攻 Master's Program of Architecture

下記のものを持参してください。

Please bring the following on the examination day.

ア. 専門科目：製図用具。プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）。なお、T定規は貸与します。

また、メモ類の持ち込みは一切認めません。

For specialized subject: Drawing instruments and battery-powered scientific calculator without program functions. T-squares will be provided. Examinees are absolutely forbidden

to bring notes.

イ. 小論文の場合：プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）

For the short essay: Battery-powered scientific calculator without program functions

ウ. 口述試験：建築設計作品のうち代表的な2点以上を説明できる図面、写真等もしくは研究計画を説明するにあたって必要と思われる資料。
ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

Oral examination: Diagrams, photos and data, that can be used to explain two or more of your key architectural works or any materials that you feel are necessary to explain your research proposal. Note, however, that architectural models cannot be brought into the examination room.

◆ バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science

基礎科目：プログラム機能のついていない関数型計算機（電池式）を貸与します。

For the basic subject examination: Battery-powered scientific calculators without program functions will be provided.

(4) その他 Other

「英語を母国語とする国の国籍を有し、かつ、主として英語による教育を行う大学を卒業した人」については、学力検査科目「外国語」を課さない場合がありますので、該当すると思われる方は、次の日時までに入試課大学院入試係にご相談願います。

4月入学：2017年（平成29年）12月8日（金）

秋入学：2017年（平成29年）6月5日（月）

Examinees who are citizens of countries where English is the native tongue or those who have graduated from universities where the teaching is predominately in English, may be excused from the “foreign language” section of academic testing; therefore, those who think that this applies to them should consult the Graduate Admissions by the following dates.

April admissions: 8 December 2017 (Fri)

Fall admissions: 5 June 2017 (Mon)

10 合格者発表 Announcement of Successful Applicants

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ（http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html）に発表します。
なお、同時に合格者には、受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

4月入学：2018年（平成30年）2月14日（水）17時（予定）

秋入学：2017年（平成29年）9月1日（金）17時（予定）

The application numbers of successful examinees are scheduled for posting on the KIT homepage (http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html) on the following dates. Note also that notifications of acceptance will be simultaneously posted to the successful applicants.

April admissions: 14 February 2018 (Wed), 5:00pm

Fall admission: 1 September 2017 (Fri), 5:00pm

11 入学手続 Enrollment Procedures

合格者は、次の日時に入学手続きを行ってください。なお、入学手続き書類は、合格通知書に同封します。

4月入学：

大学において、直接入学手続きを行う場合 2018年（平成30年）3月27日（火）9時から17時まで

郵送により入学手続きを行う場合 2018年（平成30年）3月22日（木）から3月27日（火）（17時必着）まで

秋入学：

大学において、直接入学手続きを行う場合 2017年（平成29年）9月14日（木）9時から17時まで

郵送により入学手続きを行う場合 2017年（平成29年）9月8日（金）から9月14日（木）（17時必着）まで

Successful examinees should complete the enrollment procedures on the following dates and times. Note that enrollment documents will be enclosed with the acceptance notifications.

April admissions:

Face-to-face enrollment procedure at KIT: Between 9:00 am and 5:00 pm on 27 March 2018 (Tue)

Postal enrollment procedure: Enrollment forms must arrive at KIT between 22 March 2018 (Thu) and 27 March 2018 (Tue), and no later than 5:00 pm, on the final day.

Fall admissions:

Face-to-face enrollment procedure at KIT: Between 9:00 am and 5:00 pm on 14 September 2017 (Thu)

Postal enrollment procedure: Enrollment forms must arrive at KIT between 8 September 2017 (Fri) and 14 September 2017 (Thu), and no later than 5:00 pm, on the final day.

12 入学に要する経費 Registration Fees

- (1) 入学料 282,000円

Registration fee: 282,000 yen

- (2) 授業料 267,900円 (半期) 535,800円 (年額)

Tuition: 267,900 yen (bi-annually), 535,800 yen (annually)

- ① 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。

The registration fee and tuition are subject to change.

- ② 入学料の納入は、入学手続き時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。

Payments of registration fee must be made at the time of enrollment. In cases where registration fee and tuition are revised at the time of enrollment, the new fees will apply. If tuition is revised while students are enrolled at KIT, the new tuition will apply from the time of revision.

- ③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。

Tuition payments will be divided into two payments, one in the first semester and the other in the second semester. The first semester payment will be in April and the second in October, the amount of each semester being equivalent to half of the annual amount.

- ④ 入学時及び前期の納入月に年額授業料を一括して納入することもできます。

The annual tuition can be paid in one lump sum at either the time of enrollment or the month of the first semester payment.

- ⑤ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

Once paid, the registration fee cannot be returned, for any reason.

- ⑥ 入学手続き時に授業料を納入した後で、平成30年3月30日（秋入学の場合は平成29年9月26日）までに入学を辞めた場合は、申し出により当該授業料相当額を返還します。

If students have withdrawn from KIT by 30 March 2018 (26 September 2017 for fall admissions) after tuition payment at the time of enrollment procedures, the equivalent amount will be refunded upon request.

- (3) 学生教育研究災害傷害保険料

2年間の保険料 1,750円 (予定)

Personal accident insurance for students pursuing education and research

Insurance fee for 2 years 1,750 JPY (scheduled)

- (4) 学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険料

2年間の保険料 680円 (予定)

Liability insurance for students pursuing education and research

Insurance fee for 2 years 680 JPY (scheduled)

13 入学料・授業料の免除等制度 Registration fee and tuition exemption system

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または半額を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。

2018年（平成30年）度前期分（秋入学は2017年（平成29年）度後期分）の授業料免除の申請方法は、私費外国人

留学生（在留資格が「留学」の人及び本学入学時まで「留学」の在留資格を取得する人）とそれ以外の人とで次のとおり異なります。

詳細は、学生サービス課奨学支援係〔TEL (075) 724-7143 E-mail: shogaku@jim.kit.ac.jp〕へ問い合わせてください。

Students experiencing financial difficulties and who have excellent academic results may apply for exemption or postponement of the entire or half of the registration and tuition fees.

The application process for the first semester of 2018 (or for the second semester of 2017, for fall admissions) for privately funded international students (those whose resident status is “student” or those who obtain “student” status by the time of enrollment) and for all other students, is as follows. For details please inquire at Students Affairs, Financial Aid. TEL: 075-724-7143. E-mail:shogaku@jim.kit.ac.jp

■ 2018年（平成30年）度前期分（秋入学は2017年（平成29年）度後期分）の授業料免除の申請方法

Application process for exemption of tuition for the first semester of 2018 (or for the second semester of 2017, for fall admissions)

(1) **私費外国人留学生（在留資格が「留学」の人及び本学入学時まで「留学」の在留資格を取得する人）**

Privately funded international students (those whose resident status is “student” or those who obtain “student” status by the time of enrollment)

入試出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

Applications should be submitted with admission application documents. Applications for tuition exemption will not influence examination results in any way.

① **申請期間 Application period**

同封の「2018年（平成30年）度前期分（秋入学は2017年（平成29年）度後期分）授業料免除申請要項」に記載の必要書類を揃えて、入試の出願期間に、入試出願書類と一緒に提出してください。（出願期間の詳細は、19ページの「4. 出願期間」を参照してください。）出願期間後の申請は受け付けません。

Prepare all necessary documents according to “The application requirements for tuition exemption for the first semester of 2018 (or for the second semester of 2017 for fall admissions)” and submit them with the admission application documents within the application period (for details on the application period, refer to “4. Admissions Application Period” on page 19). No applications will be accepted after the application period.

② **選考結果の通知 Notification of Results**

入学試験の合格通知書と併せて、免除選考結果通知書を送付します。

Notification of Results for exemption will be sent with the notification of acceptance following the entrance examination.

(2) **上記(1)以外の人 Students other than 1 above**

入学手続後に申請を受け付けます。（申請受付日は2018年（平成30年）3月下旬（秋入学は2017年（平成29年）9月下旬）の予定）

申請方法は、合格通知書に同封する入学手続き書類で確認してください。

Applications are accepted after enrollment procedures (late March 2018 (late September 2017 for fall admissions)).

Regarding the application process, please refer to the admission guideline documents enclosed with the notification of acceptance.

14 その他 Other

(1) 本特別入試により4月に入学する人の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わります。

The academic year for successful applicants enrolling through this admission program will be 1 April and through 31 March of the following year for April admissions.

(2) 授業はすべて日本語で行われるので、日本語の能力が十分でない人は、日本語の予備教育を受けておくことが

望まれます。

All classes will be conducted in Japanese – therefore, those who are not sufficiently proficient in Japanese are advised to study the Japanese language intensively.

- (3) 出願資格について不明な人は、2017年（平成29年）11月下旬（秋入学の場合は2017（平成29年）5月中旬）までに入試課大学院入試係において確認してください。

Anyone unclear about his/her admission eligibility should contact Graduate Admissions by the end of November 2017 (middle of May 2017 for fall admissions).

- (4) 住まいについて Information on accommodation

・まりこうじ会館（留学生用の宿舎）Marikouji Kaikan (accommodation for international students)

留学生等用の宿舎については、国際課留学生係へ問い合わせてください。

For information on accommodation for international students, please contact KIT International Affairs.

・松ヶ崎学生館 College House Matugasaki

松ヶ崎学生館は、松ヶ崎キャンパス西側に隣接し、本学学生や提携大学留学生等が入居することができる個室タイプの居住用施設です。

松ヶ崎学生館については、本学ホームページ及び次に記載する管理・運営者にお問い合わせください。

◇京都工芸繊維大学 HP

大学 HP トップ>学生生活>生活支援>下宿・アパート

◇UniLife 松ヶ崎北山通店（フリーダイヤル0120-998-521）

College House Matugasaki is adjacent to the west side of the Matugasaki campus and provides private rooms for KIT and partner university international students. For details, please refer to KIT's homepage or inquire below.

◇KIT Homepage

<https://www.kit.ac.jp/en/facilities-services/accommodation/>

◇J.S.B Kyoto Co., Ltd.(toll free 0120-998-521)

- (5) 日本政府奨学金による留学（国費外国人留学生）を希望する人は、各国の日本公館にお問い合わせください。

Those wishing to apply for a Japanese government scholarship to study in Japan at KIT (government sponsored foreign student) should contact the Japanese diplomatic office in their respective countries.

- (6) 入学時までに次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。

Incoming students must have one of the following residence statuses at time of enrollment.

- ① 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）別表第1に定める「留学」

“Student” as prescribed in Annex No. 1 of Immigration Control and Refugee Recognition Act (Cabinet Order No. 319 of 1951)

- ② 上記の「留学」以外の在留資格で、「留学」に変更することが可能な在留資格または変更を要しない在留資格

A residence status other than “Student” that can be changed to “Student” status or a residence status that does not require changing

15 注意事項 Cautions

- (1) 出願資格を有しない志願者の出願書類は、受理しません。

The application documents of those who are not eligible will not be accepted.

- (2) 出願書類等に次のような不備がある場合には、受理しないことがあります。

The following types of incomplete application forms may not be accepted.

- ① 出願書類がそろっていない場合

Missing application forms/documents

- ② 出願書類の記載が不完全な場合

Application forms/documents which have not been completely filled out

- ③ 検定料が振り込まれていない場合または、「検定料振込受付証明書」が貼付票に貼り付けられていない場合

Application Fee has not been paid or “Application Fee Bank Receipt” has not been attached to the correct form

- (3) 出願書類の提出後は、記載事項の変更は認めません。また、検定料及び出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

ただし、次の場合には、検定料の返還請求ができます。

Changes to the entries in application forms/documents will not be permitted after submission. Furthermore, neither the application fee nor the application forms/documents will be returned under any circumstances.

However, in the following cases, a refund of the application fee can be requested.

- ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合

The applicant paid the application fee but did not submit the application forms/documents or application was not accepted.

- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合または、金額を誤って払い込んだ場合

The applicant mistakenly paid twice or paid an incorrect amount.

- * 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

Please contact Graduate Admissions for details on how to request a refund for application fee.

- (4) 外国人留学生特別入試に出願を希望される人は、出願前に必ず指導を希望する教員と連絡をとり、研究希望・内容及び出願資格等について確認してください。

Applicants must contact a prospective supervisor of the target program prior to applying in order to confirm their eligibility and research plan.

- (5) 受験票は、学力検査日の3日前までに発送します。

The examination admission ticket will be sent to applicants at least three days prior to the actual examination date.

- (6) 出願書類等の提出書類に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

In cases where false statements are discovered in application forms/documents, admission may be cancelled even after enrolment procedure has been completed.

問い合わせ先 Inquiries

○大学院入試全般について General inquiries on graduate admissions

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係

TEL : 075-724-7162 e-mail : innyushi@kit.ac.jp

KIT Graduate Admissions

1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 Japan

Phone : +81-75-724-7162 e-mail: innyushi@kit.ac.jp

○入学手続について Inquiries on enrollment procedures

学務課学務企画係 Educational Affairs

TEL : 075-724-7133 Phone : +81-75-724-7133

○入学金・授業料の免除制度及び奨学金制度について

Inquiries on registration fee and/or tuition exemption system and scholarship system

学生サービス課奨学支援係 Student Affairs, Financial Aid

TEL : 075-724-7143 Phone : +81-75-724-7143 e-mail : shogaku @ jim.kit.ac.jp

○留学生用の宿舎（まりこうじ会館）等について Inquiries on accommodation for international students

国際課留学生係 International Affairs, Student Exchange Services

TEL : 075-724-7132 Phone : +81-75-724-7132

博士前期課程(修士課程) 社会人特別入試・外国人留学生特別入試実施日程

	社会人特別入試			外国人留学生特別入試	
	第Ⅰ期	第Ⅱ期	秋入学	4月入学	秋入学
出願期間	平成29年 6月30日 ～ 7月6日	平成30年 1月5日 ～ 1月11日	平成29年 6月30日 ～ 7月6日	平成30年 1月5日 ～ 1月11日	平成29年 6月30日 ～ 7月6日
学力検査日	平成29年 8月22日	平成30年 2月1日	平成29年 8月22日	平成30年 2月1日	平成29年 8月22日 ・ 8月23日
合格発表日	平成29年 9月1日	平成30年 2月14日	平成29年 9月1日	平成30年 2月14日	平成29年 9月1日
入学手続日	平成29年 11月1日 ～ 11月7日	平成30年 3月22日 ～ 3月27日	平成29年 9月8日 ～ 9月14日	平成30年 3月22日 ～ 3月27日	平成29年 9月8日 ～ 9月14日

発行先・問い合わせ先

京都工芸繊維大学 入試課 大学院入試係

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1

TEL:075-724-7162 FAX:075-724-7160

e-mail:innyushi@kit.ac.jp URL: <https://www.kit.ac.jp/>

電話での問い合わせは、平日(土・日・祝日及び年末年始は除く)の9時～12時、13時～17時に行ってください。